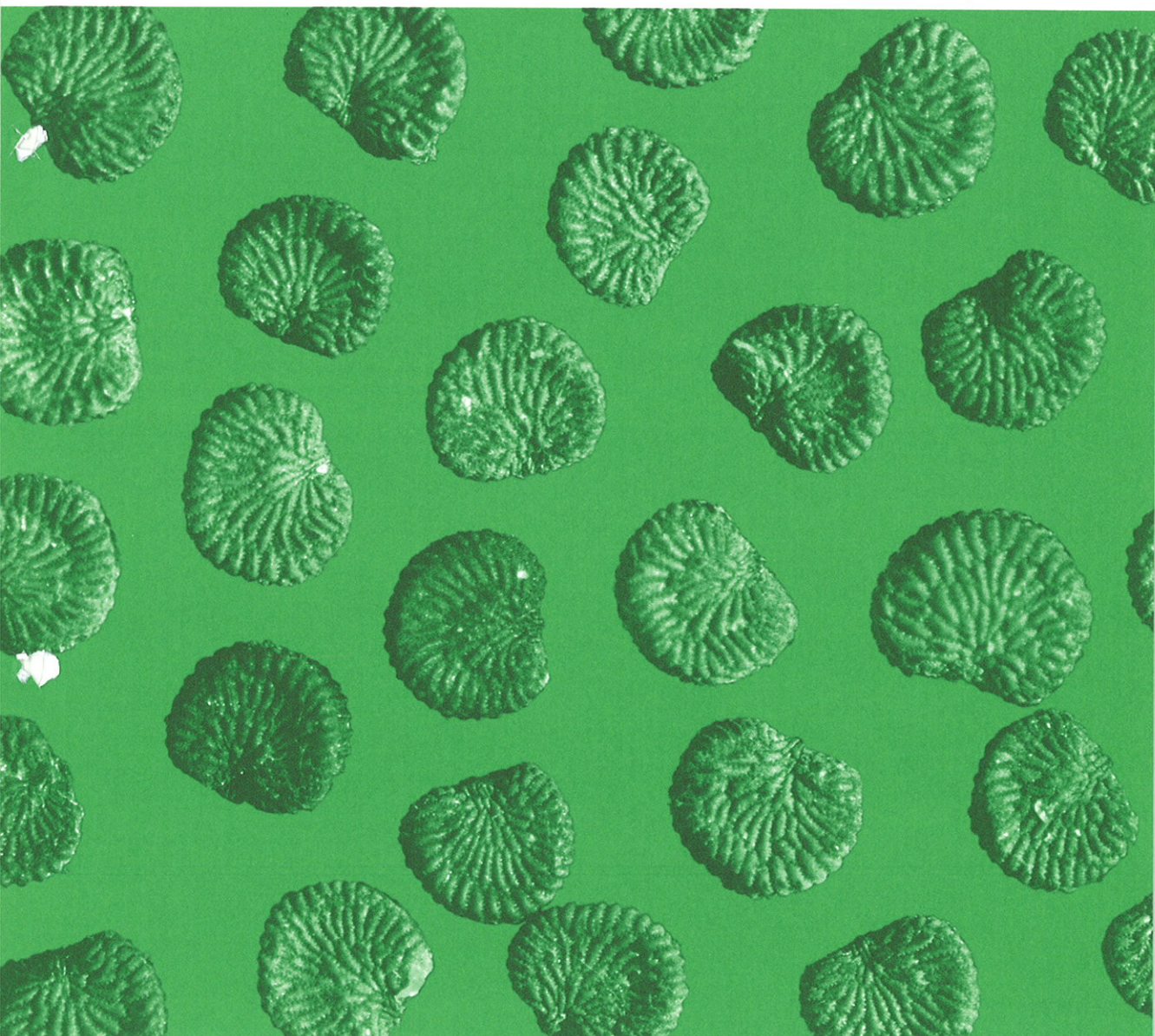


植調

第40巻第9号



ムシトリナデシコ (*Silene armeria* L.) 長さ0.6mm

財団法人 日本植物調節剤研究協会編

中期・一発処理剤の効果安定につながる、 初期除草の定番！

水田用初期除草剤

初 **ベクサー**® **フロアブル**
1キロ粒剤

特 長

- 発生前～始期の使用で、後に使用する中期剤・一発処理剤の効果をさらに安定させます。
- すぐれた経済性で、低コスト稲作に貢献できます。
- 人畜・水産動物・環境に低毒性です。

©科研製薬(株)登録商標

JAグループ
農 協 | 全 農 | 経済連
は登録商標 第470231号

三井化学クロップライフ株式会社
〒103-0027 東京都中央区日本橋一丁目12番8号

SU抵抗性雑草*も、田植同時におまかせ！

SU抵抗性
ホタルイに！

SU抵抗性
アゼナ類に！

SU抵抗性
コナギに！

SU抵抗性雑草に効く、田植同時処理除草剤

バイエル

イナバー® **DX**
1キロ粒剤

- 田植後に行っていた従来の除草作業が省略できます。
- 田植同時散粒機で均一散布が可能。安定した効果が期待できます。
- 田植と同時に除草剤散布が完了。散布適期を逃しません。

ムラなくまけて、効果長もち



®は登録商標

*SU抵抗性雑草とは？ 多くの水稲用除草剤に含まれるSU剤(スルホニルウレア系除草剤)に、抵抗性を持つ雑草のことを「SU抵抗性雑草」と呼んでいます。

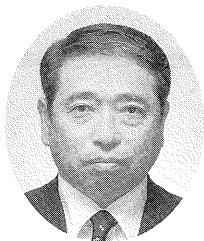
- 使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベル記載以外には使用しないで下さい。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。



Bayer CropScience

バイエルクロップサイエンス株式会社
東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262
www.bayercropscience.co.jp

巻頭言



I P M と雑草管理

(財)日本植物調節剤研究協会 評議員
農業工業会 I P M 対応会議座長
日本曹達(株)農業化学品開発グループリーダー

水野晶巳

農林水産省植物防疫課では、「農林水産環境政策の基本方針」(平成15年12月)を背景に我が国農業をさらに IPM にそったものとする 것을 目的とした「総合的病害虫・雑草管理(IPM)実践指針」及び「実践指標策定モデル(水稻モデル)」を平成17年9月30日、各農政局経由、都道府県に通知しました。以前の IPM は害虫を重点にしていたが、通知された IPM は病害、雑草管理も含んでおり「植調」読者関係者には目新しいことである。水稻モデルにある雑草の管理ポイント(点数制)を紹介したい。「不耕起栽培を除き、翌年のオモダカ、クログワイ等の多年生雑草の発生を抑制するために稲刈り後早期に耕耘する」、「前年の雑草の発生状況に応じて、過剰防除にならないように適切な除草剤を選定する」、「紙マルチ移植や機械除草等の除草剤を使用しない雑草管理対策を実施する」、「水田初期除草剤を、移植前又は移植時に使用する場合には、環境への影響に十分配慮して処理する」、「止水期間の定められている農薬を使用する場合には、農薬毎に定められている止水期間中、落水・かけ流しは行わないこととし、適切な水深管理及びけい畔管理を行う」等があり、これらを実施することにより各1点が加算されます。

農業工業会は「IPM 実践指針」、「水稻モデル」の導入について全都道府県の植物防疫に直接関係する関連部署及び(又は)試験場を対象とし、アンケート調査を実施しました。その結果、IPM の定義は多様であったが、今後 IPM が増加する

とした県が70%を占めた。同時に「IPM が今後どの程度の面積を占めるか?」に対し、50%以上の県が「わからない」と回答しており「意欲と実態」の乖離が際立っていた。IPM に関する問題とし「コスト」、「技術」を挙げている県が多い。その中で、96%の県が「農業を必要不可欠の IPM 実践技術」と考えており、「適切な化学農薬の利用」を重視すべき技術分野としている。

その反面、95%の県が「化学農薬の使用を減らせる」としているが、この中の3割~5割は明確な裏づけがない回答であった。

さて、IPM と関係の薄かった雑草管理においても今後ますます「IPM 要素技術」の確立が求められるところとなる。しかし、水稻雑草防除においては、化学除草剤により大幅な労働力縮小、コスト削減、高活性成分による投下薬量低減などで環境負荷軽減をはたしており「IPM」を既に達成している感もある。雑草管理に関する「IPM 要素技術」の確立を進めるためには、「斑点米カメムシ対策」のための水田周辺雑草地の雑草管理試験、果樹園ではナギナタガヤ、ダイカンドラなど草生栽培に向けた草種の導入研究、野菜栽培地では天敵増殖のためのバンカープラント(ソルゴー等)の創出など多様な分野の試験研究の進展が期待されている中で、害虫研究者などと協力し農家のメリットに通じる研究開発が肝要と考える。

目 次

(第40巻第9号)

巻 頭 言

IPMと雑草管理 1

<財団法人日本植物調節剤研究協会 評議員

農薬工業会 IPM対応会議座長

日本曹達(株)農業化学品開発グループリーダー

水野晶巳>

北海道大規模畑作地帯での雑草対策 3

<北海道農業研究センター 芽室研究拠点

パレイショ栽培技術研究チーム 石川枝津子>

中山間地域農地斜面の雑草管理の実態と

生物的管理法 9

<愛媛県農業試験場 川崎哲郎>

リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験に関する

現地研究会に参加して 17

<群馬県農業技術センター 荒木智哉>

平成18年度茶園関係除草剤・生育調節剤

試験成績概要 20

<財団法人日本植物調節剤研究協会 技術部>

平成18年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤

試験成績概要 21

<財団法人日本植物調節剤研究協会 技術部>

新登録除草剤・植物成長調整剤一覧 28

<農林水産省消費・安全局農産安全管理課>

植調協会だより 48

よりよい農業生産のために。三共アグロの農薬

●三共アグロの優れた製剤技術から
生まれた グリホサート液剤**三共の草枯らし。**●移植前後に使える
初期除草剤**シング®乳剤**●SU抵抗性雑草(ホタルイ等)に3成分で効果がある
投げ込み型一発処理除草剤**クサトリ-DX**

ジャンボ®H/L・1キロ粒剤75/51・フロアブルH/L

●白化させて枯らす
非SU型初・中期一発剤!!**イネエース**

1キロ粒剤

●時代先どり、ジャンボな省力
投げ込み型の一発処理除草剤**クサトリエース®** Hジャンボ®
Lジャンボ®●ノビエ3.5週間まで使える
新しい中期除草剤**ザーベックス®DX** 1キロ粒剤●効きめの長〜い
初・中期一発処理除草剤!!**ラクダー®プロ**

フロアブル・Lフロアブル・1キロ粒剤75/51

●がんこな草も蒼白に
初・中期一発処理除草剤!!**シロノック®**

H/Lフロアブル・Lジャンボ®

●使いやすい
初期一発処理除草剤**ミスラッシュ®** 粒剤
共 1キロ粒剤●SU抵抗性の
アゼナ・ホタルイに**クサコント®** フロアブル

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

三共アグロネット会員募集中!

詳しくはホームページをご覧ください。

**三共アグロ株式会社**

SANKYO 〒113-0033 東京都文京区本郷4-23-14

<http://www.sankyo-agro.com/>

北海道大規模畑作地帯での雑草対策

北海道農業研究センター 芽室研究拠点バレイショ栽培技術研究チーム 石川枝津子

はじめに

北海道東部に位置する十勝地方では、小麦、豆類、ばれいしょ、てんさいを輪作品目にした大規模な畑作経営が展開されている。農家1戸当たりの平均耕地面積は37.7haと全国平均の22倍となっており、専業農家が農家戸数7,190戸の69%を占め、専業農家が生産の大部分を担っている。また、農業生産法人も増加傾向にあり、平成17年1月現在で336の法人が農業生産を行っている。このように、規模拡大が進行する一方で、地域では労働力不足や収益性の面から、さらなる省力と低コストの技術が求められており、雑草対策への要望も多い。北海道農業研究センターでは、十勝地方で導入がはかられている新しい栽培体系の雑草対策として、平成14年からてんさいの直播栽培、平成15年から機械収穫に適した大豆栽培、平成17年からばれいしょ早期培土栽培における雑草防除技術の開発に取り組んでいる。そこで得られた知見をもとに、大規模畑作地帯での雑草対策についてまとめた。

従来、地域での雑草対策への取り組みは、クリーン農業の推進と、農業機械メーカーが数多く存在し生産者のニーズを生かした作業機械の開発が盛んな土地柄であることから、機械除草の確立を中心に行われてきた¹⁵⁾。しかし、機械除草では、株間の除草に問題が残る。さらに、十勝地方では夏期に降水量が多く曇天が続くこ

とが多いことから、土壌が湿り機械除草の効率を低下させる^{13,14)}。そこで、北海道農業研究センターでは、除草剤による防除に重点をおいて対策に取り組み、最終的に機械除草と除草剤を中心とした総合的雑草防除技術の確立を目標にしている。さらに、雑草防除を徹底し、雑草種子による圃場の汚染を改善することが、将来、環境に配慮した減農薬の除草体系へつながると考えている^{11,12)}。

1. 発生雑草

防除の対象となる雑草種を明らかにするために、研究拠点のある芽室町管内の農家圃場で、平成14年は直播てんさい畑を、平成15年は大豆畑を中心に発生雑草の調査を行った。その結果、13科27種の草種の発生を確認した(表-1)。直播てんさいの播種期は4月下旬、大豆の播種期は5月下旬であったが、てんさい畑と大豆畑での草種の違いは無く、各圃場で共通して発生の多かった草種は、シロザ、ハコベ、イヌタデ、タニソバ、スカシタゴボウであった。調査圃場のなかに、前所有者の離農により耕作が一時放棄された圃場があった。そこでは、他の圃場と比較して草種の違いは認められなかったが、発生量がきわめて多かった。また、堆厩肥が投入された圃場においても発生量が多かった。さらに、堆厩肥の投入された圃場では、イヌホオズ

表-1 調査圃場で確認された雑草種

科 名	和 名	学 名
アカザ科	シロザ	<i>Chenopodium album</i>
	ウラジロアカザ	<i>Chenopodium glaucum</i>
タデ科	イヌタデ	<i>Persicaria longiseta</i>
	ハルタデ	<i>Persicaria vulgaris</i>
	オオイヌタデ	<i>Persicaria lapathifolia</i>
	タニソバ	<i>Parsicaria nepalensis</i>
	ソバカズラ	<i>Fallopia convolvulus</i>
	ミチヤナギ	<i>Polygonum aviculare</i>
ナデシコ科	エゾノギシギシ	<i>Rumex obtusifolius</i>
	ハコベ	<i>Stellaria media</i>
イネ科	ノハラツメクサ	<i>Spergula arvensis</i>
	イヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i>
	スズメノカタビラ	<i>Poa annua</i>
ナス科	アキメヒシバ	<i>Digitaria violascens</i>
	イヌホオズキ	<i>Solanum nigrum</i>
アブラナ科	ナズナ	<i>Capsella bursa-pastoris</i>
	スカシタゴボウ	<i>Rorippa islandica</i>
	キレハイヌガラシ	<i>Rorippa sylvestris</i>
ツユクサ科	ツユクサ	<i>Commelina communis</i>
シソ科	ナギナタコウジュ	<i>Elsholtzia ciliata</i>
ヒユ科	イヌビユ	<i>Amaranthus lividus</i>
	アオゲイトウ	<i>Amaranthus retroflexus</i>
スベリヒユ	スベリヒユ	<i>Portulaca olercea</i>
キク科	セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i> Weber
	ノボロギク	<i>Senecio vulgaris</i>
マメ科	シロツメクサ	<i>Trifolium repen</i>
トクサ科	スギナ	<i>Equisetum arvense</i>

キや、イヌビユ等のヒユ類の発生が特異的に増加していた。

主要な草種を発生時期別に区分すると、春先の低温時から発生の多い草種は、ハコベ、シロザ、ナズナ、ハルタデ、温度が上昇するにつれて発生が増加する草種は、タニソバ、アオゲイトウ、スカシタゴボウの実生からの発生であった。イヌタデ、イヌホオズキ、イヌビエは低温時に発生が始まり、長期にわたり発生が継続していた。

調査圃場では、除草剤と除草機械により、地域での慣行の防除が行われていたが、各圃場で、

防除後にイヌタデとタニソバが確認された。そこで、イヌタデとタニソバを地域の除草体系における問題雑草とした^{1,4)}。

2. 問題雑草タニソバとイヌタデの発生要因

イヌタデ(写真-1)とタニソバ(写真-2)はともにタデ科の雑草で、両種ともに平伏する草型である。地域には、イヌタデと形態の類似したハルタデ類とオオイヌタデの発生がみとめられるが、イヌタデは、葉緑体DNA分析の結果、それらとは母系に大きな差があることがわかっている¹⁰⁾。また、形態的には葉鞘縁の毛が長い



写真-1 イヌタデ



写真-2 タニソバ



写真-3 秋まき小麦収穫跡のイヌタデ

ことにより、他のタデ類との区別が可能である。

イヌタデは、圃場において、4月から7月までの長期にわたり発生する。発芽試験の結果では、イヌタデは強い休眠性を示し、休眠覚醒後は広範な温度条件で発芽がするが、低温条件では発芽がばらつく傾向にあった²⁾。イヌタデは発芽時期を拡散させることで、防除をくぐり抜けていると考えられる。草高が低いため、秋まき小麦の刈り取り後にも個体が残る(写真-3)、その後、圃場一面に発生が広がることもある。イヌタデの増加を防ぐには、作物生育期間の防除の徹底のほかに、栽培後の管理においてイヌタデを繁殖させない条件を整える必要がある。北海道農業研究センターでは、秋まき小麦の条間にクローバー類を播種し、小麦刈り取り後、生長したクローバーにより雑草の生育を抑制し、その後、緑肥として鋤込む試験が行われている。

タニソバは比較的溫度が上昇した5月下旬から発生が始まり、その後、発生が長期にわたり続く。地域では、6月下旬から地表が作物で被覆されるまで頻繁に行われる機械除草の後に出芽が確認され、とつてもとつても発生が続く雑草として認識されている。しかし、一方で、その時期に耕耘により土壌の攪乱をしなければタニソバの発生が減少することを確認した。さら



写真-4 タニソバの開花結実したタニソバ

に、発芽試験の結果、タニソバの最適発芽温度は25℃で、特に、低温暗黒条件にあった種子が、25℃を含む変温と光条件下になったときに発芽の増加が著しいことが明らかになった³⁾。このことから6～7月に行われている機械除草は、土壌を攪乱してタニソバの発生を増加させていると考えられる。タニソバの増加を抑えるには土壌を攪乱する管理を避ける必要がある。また、タニソバでは、8月になると開花が始まり、開花個体は同時に種子を登熟させる(写真-4)。タニソバの増加を防ぐには開花以前に防除することが必須である。

3. 堆厩肥対策

十勝地方では山沿いを中心に大規模な酪農が行われており、畑作との複合経営も多い。管内で発生する年間約454万トンの家畜の糞尿を適正に処理するためには、畑地への還元が不可欠であり、堆厩肥投入畑での雑草対策は、避けては通れない問題である。今回の調査で、堆厩肥を投入した圃場ではイヌビユ、アオゲイトウ、イヌホオズキ、エゾノギシギシ、ウラジロアザミ、イヌビエの発生が増加することを確認した。それらの草種について、堆厩肥の熟成過程を想定して、熱処理による種子の死滅効果を調査した。

55℃24時間の熱処理によって、供試した雑草種子を死滅させることができた。しかし、47℃24時間、55℃12時間の処理では生存する草種が増加し、特にアオゲイトウとイヌホオズキでの死滅効果が極端に低くなった。それらの草種は堆厩肥の熟成過程で温度条件を確保できなかった場合、圃場に侵入する可能性が高いことが明らかとなった⁵⁾。イヌホオズキとアオゲイトウについては、圃場で発生した場合の防除を確立する必要があり、防除効果の高い除草剤の選定に取り組んでいる。

4. 雑草対策の新たな取り組み

てんさい栽培では選択性除草剤による防除が広く行われており、すでに移植栽培を中心に、除草剤を組み合わせた同時散布が行われている⁹⁾。てんさいの生育期間が長い直播栽培では、除草剤の選択がさらに重要となる。発生雑草種にあわせた除草剤による防除法をまとめた⁷⁾。直播栽培では、てんさいの本葉2葉期をめどに除草剤の一回目の散布を行うが、その時期はてんさい

いの出芽と初期生育が気象条件の影響を受けるため年次によって変動する。しかし、地域の主要雑草の一つであるシロザは、低温年でも旺盛な生育を示す。生育の進んだシロザに効果の高いフェンメディファムの使用が、第一回の防除では不可欠である。また、堆厩肥を投入した圃場で、ヒユ類やイヌホオズキが発生した場合は、メタミトロンの使用が有効である。機械除草後に発生するタニソバの防除には、土壌処理効果をあわせもつレナシルPACの株元処理が有効で、すでに実施している農家もある。

大豆栽培では播種時の土壌処理除草剤とその後の機械除草が広く行われてきたが、はじめに述べたように、気象条件などから、生育期の除草剤による防除の確立が必要である。ベンタゾンの使用が可能となったが、選択性除草剤であることから、効果のある雑草種に限られる¹⁰⁾。そこで、北海道農業研究センターでは、ピアラホスなどの非選択性除草剤の畦間散布の技術開発に取り組んでいる(写真-5)。一方、大豆生育期の雑草防除として、大豆の競合力を利用し



写真-5 万能散布バー(北海道糖業株)を用いた畦間散布試験

た狭畦密植栽培が、機械収穫に適した主茎型品種でも有効であることを明らかにした^{6,8)}。しかし、大豆の生育は気象条件の影響を大きく受ける。平成18年のように、春の低温により大豆の初期生育が遅れた場合、狭畦栽培でも、大豆生育期の除草剤による防除が必要となる。狭畦栽培においても畦間散布の検討を行っている。

ばれいしょ栽培では、5月上旬の種イモの植え付けから6月下旬の本培土まで、培土をかねて中耕が行われる。このため、ばれいしょ生育期の雑草対策は必要とされてこなかった。しかし、近年、ばれいしょの収量と品質の向上のため、培土の時期を早める早期培土栽培が行われるようになってきた。さらに、北海道農業研究センターでは、高収量と低コストを目的に、植え付けと同時に培土を行うソイルコンディショニングの栽培体系の開発が行われている。それら早期培土栽培では、中耕除草ができず、新たな雑草対策が必要となる。北海道農業研究センターでは、平成18年度から、土壌処理剤のメトリブジンやリニュロンの効果の持続期間を最大限に利用する処理方法と畦間散布機を利用した非選択性除草剤によるばれいしょ生育期の防除技術の開発に取り組んでいる。

9月に播種し、翌年7月下旬から収穫という秋まき小麦を輪作体系に組み込むのは難しい。地域では、秋まき小麦の連作が行われており、それにともない、多年生雑草レッドトップ（写真-6）とシバムギの増加という問題が生じている。さらに、前述のように、秋まき小麦の刈り取り跡が雑草の増殖の場になっているケースがある。今後は、多年生雑草の対策とともに、秋まき小麦の前作と収穫跡の管理法を検討して、雑草対策としても有効な輪作体系の構築に取り組みたい。



写真-6 秋まき小麦畑のレッドトップ

雑草対策に取り組みば取り組むほど万能な防除法がないことを思い知らされる。除草作業という攪乱に適応進化している雑草種に対する対策は、様々な防除技術を組み合わせた総合的防除しかないというのが結論である。いかにして有効な総合的防除法を組み立てるが今後の課題である。さらに、選択性除草剤を発生草種に合わせて使い分けることさえ面倒という声がある。栽培現場で、圃場に合わせた総合的防除法が、簡単に検索できるようなシステムの構築も必要と思われる。これらは、一つの研究機関だけで成し遂げられる課題ではない。全国の畑作雑草研究者の情報交換の場である畑作雑草研究会の活動を通して全国的な取り組みになることを期待したい。

引用文献

- 1) 石川枝津子・竹中重仁 2003. 直播テンサイ畑での発生雑草. てん菜研究会報44, 59-65
- 2) 石川枝津子 2003. 畑地雑草の生態と防除技術 第2報 タデ科雑草の出芽特性. 育種・作物学会北海道談話会報第44号, 77-78
- 3) 石川枝津子 2004. タニソバの発芽特性と防除法. 雑草研究第49号(別), 78-79
- 4) 石川枝津子・中野寛・竹中重仁 2004. 十

- 勝地方のダイズ畑の発生雑草. 日本育種学会・日本作物学会北海道談話会報45, 5-6
- 5) 石川枝津子・遠藤隆裕・竹中重仁 2005. 堆厩肥を投入した直播テンサイ畑で発生を確認した雑草種の防除. てん菜研究会報46, 43-45
- 6) 石川枝津子・中野寛・竹中重仁・田中義則 2005. 草型の異なる大豆に対する雑草管理 雑草研究50(別), 62-63
- 7) 石川枝津子・竹中重仁 2005. 雑草の発生生態にもとづいた直播テンサイ畑の雑草対策 第3回てん菜研究会講演発表要旨集 13-14
- 8) 石川枝津子・中野寛・竹中重仁 2006. 寒地大豆栽培における除草剤と狭畦の体系処理による雑草抑制効果. 雑草研究51(別), 80-81
- 9) 吉良賢二 2006. 雑草防除の極意は「先手必勝」にあり, 土壌散布がもっとも基本. [畑作編] 環境にやさしい除草剤の使い方. すっきり上手に雑草対策. ニューカントリー 623 24-25
- 10) 中山祐一郎・石川枝津子・山口裕文 2003. 外部形態および分子マーカーによる北海道のテンサイ畑に多発するタデ類の分類. 雑草研究48(別) 84-85
- 11) 越智弘明 2002. 畑作物の雑草防除の方向性. 北海道型クリーン農業を考える. 北海道立十勝農業試験場平成3年度場内シンポジウムの記録. 24-32
- 12) 越智弘明 2006. 収穫後や耕作前に, 土中雑草種子密度を下げるのが重要. [畑作編] 圃場の雑草から知る除草法. すっきり上手に雑草対策. ニューカントリー623 22-23
- 13) 白幡雅樹 1996. 労力大幅減に大活躍の防除機と除草機. 雑草, 土壌, 気象などの違いが大きく影響を受ける. ニューカントリー. 507:80-81
- 14) 白幡雅樹 1996. 機械除草の実態と問題点. 農家の友. 562, 48-50
- 15) 高橋義晴・菅原敏治 1994. こうして減らす畑の除草剤. 農村漁村文化協会.
- 16) 渋谷知子・浅井元朗・與語靖洋 2006. ダイズ作における一年性広葉畑雑草のベンタゾン感受性の種間差. 雑草研究51(3) 159-164.

日本帰化植物写真図鑑

清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七／編著 B6判 548頁 本体価格4,300円

●帰化植物630余種を1,700余点のカラー写真で紹介。飼料作物畑の雑草害と対策も解説

全国農村教育協会
http://www.zennokyo.co.jp

〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6
TEL03-3833-1821 FAX03-3833-1665

中山間地域農地斜面の雑草管理の実態と生物的管理法

愛媛県農業試験場 川崎哲郎

1. はじめに

中山間地域にある農地、特に水田は、生産の場としてだけでなく、環境や生態系保全に占める役割の重要性はよく知られているが、ほ場整備の遅れもあって放棄され、あるいは植林される場合が多くなっている。

過疎・高齢化が進むこれらの地域では、このような農地の管理が極めて困難な状況にあるが、例えば水田経営が行われていても、斜面など付帯施設までは手が回らない実状にある。農地斜面（農地斜面における管理作業は水田ばかりでなく普通畑や樹園地等の法面すべてに該当するので、本論では水田畦畔法面に限定する場合以外は農地斜面と呼ぶ）の管理は万一崩壊すると二次災害も含めて周辺に大きな災害をもたらす点で重要である。

一方、ほ場整備を行った場合でも、これら傾斜地帯では、斜面長・段高さが大きくなるために、農地斜面の管理に多大の労力が必要である。従来、農地斜面の雑草は飼料・肥料の供給源として大きな役割を有していたが、現在ではこれらの役割もほとんどなくなり、刈取った雑草をその場に放置している場合が多い。したがって、高齢化の進展と相伴って、雑草の管理自体が重労働で苦痛を伴う作業となっている。

さらに、傾斜地における斜面の草刈作業は危険を伴っており、動力刈払機（以下刈払機）と

呼ぶ）を利用した草刈作業時の事故の発生が少なくない。

また、低平地の水田地帯においては、近年農作業の受委託あるいは農地の貸借により稲作経営が大規模化する方向にある。このような低平地では、機械の大型化・高性能化によって省力化が進み、稲作経営は1ha当り136時間程度で作業が可能となっている川崎ら1997)。ただし、この作業時間には、水路の維持管理・畦畔の雑草管理作業が含まれていない。

水路の維持管理は集落単位で行うべきであると考えられるが、畦畔の雑草管理は経営者自体が行わねばならず、この作業が経営規模の拡大を阻害する一つのネックになると考えられる。

雑草管理作業を軽減するためには種々の方策があるが、その一つとして植生で地上部を密に覆って雑草の発生を抑制するという生物的管理法（生物的管理法とは、雑草を他の植物によって制御し、人力や機械力あるいは薬剤などで駆除する労力を省くことを指す）がある。

生物的管理法に関しては、河川の堤防斜面について、造園用樹草の利用性、防災の見地からの雑草類の利用、導入した植生の刈込み時期などの報告（江崎ら1992, 1994）があるが、農地斜面における植生の利用性や雑草の発生への影響については報告例が少ない。一方、観察によれば、公園や庭等の地被植物植栽地においては

表－1 畦畔法面の雑草管理に関する聞き取り調査結果

平均傾斜度	9.8 度
草刈作業の回数	3.9 回
草刈作業の時期	雑草の生育状態により判断（草丈20～30cmを目安）
耕地面積10a・1回当りの草刈作業時間	3.5 時間
耕地面積10a当り年間草刈作業時間	13.7 時間

雑草がほとんど発生していない場合がよくみうけられる。

これらのことから、地上部を被覆する傾向が強い植物によって雑草が抑制でき、管理労力が軽減できるものと考えられる。

そこで、筆者らは、中山間地域における農地斜面の雑草管理実態、光の透過度が雑草の発生に及ぼす影響や地被植物植栽地における光環境と雑草の発生状況等について調査を行ってきたが、その結果の概要について述べてみたい。

2. 雑草管理の実態

(1) 聞き取り調査の結果

愛媛県における代表的な中山間地域（ほ場整備未施工）である伊予郡広田村で、畦畔法面における管理方法、水稻作期間中の草刈作業の回数、労働時間等について聞き取り調査を行った。その結果は表－1に示したとおりであった。

県内における畦畔法面の除草作業は、一般に、鎌、刈払機、除草剤などが使用されているが、この地域ではほとんどが刈払機を使用しており、刈払機の刈残し部分に鎌を使用している。

なお、除草剤による除草は刈払機と鎌による除草に比べて労力を軽減できるが、現実には除草剤を使用した場合、畦畔法面が緩み崩壊を引き起こす危険があるのでほとんど使用されていない。

草刈作業の回数は各農家によって異なるが、全く草刈を行わない農家はなく、少ない農家で3回、多い農家は7回で、4回実施している農家が大半を占め、平均で3.9回実施している。

草刈作業は雑草の生育状態により作業時期を決め、草丈20～30cmを目安に行っている。

作業時間は水田の立地条件によって異なるが、耕地面積10a・1回当たり平均3.5時間を要している。したがって、水稻作期間中の10a当り作業時間は平均13.7時間を必要とすることになり、先に述べた稲作経営に要する作業時間と比較しても、畦畔の雑草管理は水田経営にとって負担の大きな作業となっている。

(2) 畦畔法面の草刈作業時間

愛媛県において代表的なほ場整備地区である東温市上林（中山間地域）2ヵ所、西予市（盆地）2ヵ所、西条市（海岸に近い低平地）1ヵ所の合計5ヵ所について、草刈作業が必要な面積と草刈作業時間を調査した。その結果は表－2に示したとおりであった。

草刈作業が必要な面積（耕地面積10a当り）

表－2 ほ場整備水田における草刈作業面積と作業時間

項目 場所	作業面積 (㎡)	1回当り作業 時間 (分)	年間作業時間 (時)	平均傾斜度 (度)
東温市上林A	343	213	13.8	8.1
東温市上林B	154	95	6.2	4.3
西予市清沢	68	42	2.7	2.1
西予市岩城	53	33	2.1	1.7
西条市禎瑞	39	24	1.6	0

注) ①作業面積、作業時間はいずれも耕地面積10a当りの換算値
 ②作業時間は、機械の点検整備、燃料補給、休憩、自宅からほ場までの移動等の時間を除いたほ場での純粋な作業時間
 ③年間作業時間は、年に3.9回の草刈作業をした場合の換算値

は、東温市上林で各々343㎡、154㎡、西予市では68㎡、53㎡、西条市39㎡で、中山間地域は低平地に比べて著しく大きい。

耕地面積10a・1回当りの草刈作業時間は、東温市が213分及び95分、西予市42分及び33分、西条市24分となる。すなわち、年間3.9回の草刈作業を行うとすれば、耕地面積10a当りの年間の草刈作業時間は各々13.8、6.2、2.7、2.1、1.6時間となる。

これらの値は作業中の燃料補給や休憩時間、あるいは機械の点検整備、刈刃の交換や畑までの移動時間等を含んだものではなく、実際の作業時間は上述した時間の2～3割増になると考えられる。したがって、草刈作業に必要な年間の労働時間は中山間地域の東温市で7～18時間/10a程度と多く、傾斜勾配が緩やかで大規模経営が可能と考えられている西予市、西条市では1.9～3.5時間/10a程度となる。

水稻作においては、将来10haあるいは20ha規模の大規模経営を行う必要があるといわれている。

中山間地域は低平地に比べると作業効率が悪く、このような大規模経営は困難であると思われるが、中山間地域といえども、水稻作を基幹とした農業生産を行おうとすれば、できる限り省力化を図る必要がある。

水路の維持管理・畦畔の雑草管理を除いた水稻作における作業時間は、大型機械を使用すれば約136時間/haで、しかも育苗及び乾燥・調整・出荷作業を育苗センターやカントリーエレベーターあるいはライスセンターに委託するとすればわずか74時間/ha程度である（川崎ら1997）。

表－3 光の透過度と一年生雑草の発生

雑草の種類	相対照度 (%)			
	100%	21.8%	5.8%	1.5%
カヤツリグサ	252	6	0	0
メヒシバ	76	6	0	0
オヒシバ	17	0	0	0
タカサブロウ	14	2	0	0
ノゲシ	12	0	0	0
イヌガラシ	32	18	0	0
オオアレチノギク	3	4	0	0
スズメノカタビラ	1,112	1,816	1,352	1,484
オオイヌノフグリ	218	454	258	32
合 計	1,736	2,305	1,610	1,516

注) ①表内の数字は雑草の発生量（本/㎡）

②1993年8月12日にロータリによる耕うんを5回行って殺草した後、シルバーポリエチレンフィルムを一重、二重、三重に被覆して各種の相対照度を設定した。以後自然状態で放置し、10月5日に雑草の発生量を調査した。

③相対照度＝（地表面の照度/被覆面上の照度）×100（%）

しかしながら、東温市上林のような中山間地域では、米の生産に直接関係のない畦畔の雑草管理作業に70～180時間/haを必要とし、純粋な米の生産に必要な作業に匹敵する程度あるいはそれ以上の労働力が必要である。このことから、中山間地域の水稲作経営において、雑草管理作業が非常に厳しい作業であることがよくわかる。

また、西予市、西条市のような傾斜の緩やかな大区画水田でも雑草管理作業に19～35時間/ha程度を必要とし、純粋な米の生産に係る必要な作業の約2割を占める。

3. 地被植物植栽地における光環境と雑草の発生

(1) 光の透過度が雑草の発生に及ぼす影響

1) 光の透過度と一年生雑草の発生の関係について調査した結果は表－3に示したとおりであった。

本調査で発生した雑草は夏生一年草4種、越年草5種の計9種である。

夏生一年草についてみると、カヤツリグサ、

表-4 光の透過度とヨモギの発生

相対照度		100%	21.8%	5.8%	1.5%	備考
発生量 (本/m ²)	4月13日	812	664	732	700	刈取り直前（シルバーポリ被覆）
	5月13日	1,232	1,200	732	464	刈取り後30日
	6月2日	1,232	1,204	728	160	刈取り後50日（調査後刈取り）
	6月24日	1,120	1,048	608	220	刈取り後22日
	7月26日	1,172	1,088	468	172	刈取り後55日
7月26日の根量(g/m ²)		321.2	209.6	91.1	64.8	

注) ①ヨモギの群生地において各種の相対照度を設定した後、4月13日及び6月2日に地際からヨモギを刈取り、その後の発生量(本/m²)を調査した。

メヒシバは、対照区では各々252本/m²、76本/m²と発生が多かったが、相対照度21.8%ではいずれも6本/m²に減少し、相対照度5.8%以下では発生が全く認められなかった。

オヒシバ、タカサブロウにおいても、相対照度の低下に伴って発生が著しく減少する傾向がみられ、対照区では各々17本/m²、14本/m²であったが、相対照度21.8%で各々0本/m²、2本/m²となり、相対照度5.8%以下では発生がなかった。

メヒシバ、オヒシバ、カヤツリグサ、タカサブロウは生育期間が4～10月で、生育期間中絶えず発芽する夏生一年草で、夏生一年草はいずれも光感受性が強く、被覆によって発生が抑制されることが明らかであった。

次に、越年草についてみると、ノゲシは光の感受性が強く、対照区では12本/m²であったが、相対照度21.8%以下では発生がみられなかった。

イヌガラシ、オオアレチノギクにおいても、ノゲシほどではないが光の感受性がみられ、対照区では各々32本/m²、3本/m²であったが、相対照度21.8%で各々18本/m²、4本/m²、相対照度5.8%以下では発生が認められなかった。

一方、スズメノカタビラ、オオイヌノフグリにおいては、相対照度による明瞭な差異は認められなかった。

越年草のうち光の感受性が強かったノゲシ、

イヌガラシ、オオアレチノギクは、10月頃に発芽した後ロゼットを形成して越冬し、翌年の春に成長する草種である。

このように夏生一年草及び越年草のうちロゼットを形成して越冬する草種の発生は光の透過度と深い関係があり、相対照度5.8%では発生が認められなかった。

他方、越年草のうち光の感受性が弱かったスズメノカタビラ、オオイヌノフグリは、10月頃に発芽するが冬期は生育が進まず、翌年の春になってから生育が旺盛になるといわれている。しかして、冬期(2月)の観察によれば、両者ともに周辺では多く発生しているにもかかわらずシロツメクサの植栽地では発生が少なかった。したがって、地被植物で光の透過を遮断すれば、光の感受性が強い草種ばかりでなく、スズメノカタビラやオオイヌノフグリのような光の感受性が弱い越年草においても発生を抑制できる可能性があり、今後さらに調査が必要であると考えられる。

2) 光の透過度と多年生雑草の発生

光の透過度が地下茎から萌芽する多年生雑草の発生に及ぼす影響を明らかにするため、相対照度を100% (対照区)、21.8%、5.8%、1.5%とした場合について、地際部から刈取った後のヨモギの発生量及び根量を調査した。その結果は表-4に示したとおりであった。

対照区（相対照度100％）についてみると、当初812本/m²であったが、1回目の刈取り後1.5倍程度に増加し、以後は変化しなかった。

相対照度21.8％においても刈取り後著しく増加し、対照区とほぼ同様の傾向を示した。

相対照度5.8％においては、1回目の刈取り後は当初とほぼ同数の発生量を示したが、2回目の刈取り後には発生量が減少し、当初の約64％となった。

相対照度1.5％は、5.8％よりさらに発生が少なくなり、2回目の刈取り後には当初の23％程度となった。

次に、2回目の刈取り55日後におけるヨモギの根量についてみると、対照区は321.2 g/m²と多かったのに対し、相対照度21.8％では209.6 g/m²と減少し、対照区の約65％であった。相

対照度5.8％、1.5％ではさらに少なくなる傾向を示し、各々91.1 g/m²、64.8 g/m²と対照区の28.4％、20.2％であった。

このように、相対照度の低下に伴って地際部から刈取った後のヨモギの発生量、根量は、21.8％区を除いて顕著に減少する傾向を示した。なお、相対照度21.8％ではヨモギの発生が対照区とほぼ同数であったにもかかわらず根量は65％に減少した。これは、光の透過が低下することによって光合成が抑制され、その結果として根量に影響したものと考えられる。

本調査結果は、地被植物植栽地に発生したヨモギを手取り除草（この場合地下茎は残る）した場合のヨモギの状態変化を想定することができる。したがって、地被植物で地表面を被覆し光の透過を遮断するとともに、人力による除草

作業を行うことによって、地下茎から萌芽する多年生のヨモギでさえ発生を抑制できるものと考えられる。

(2) 地被植物植栽地における光環境と雑草の発生

表－5は地被植物植栽地における相対照度と雑草の発生状況を調査した結果である。

表から明らかに、シロツメクサ、マツバギクの植栽地では、相対照度がいずれも

表－5 被植物植栽地における光環境と雑草の発生

		シロツメクサ		シバザクラ		マツバギク	
		植栽地	対照区	植栽地	対照区	植栽地	対照区
相 対 照 度		0.1％	—	5.8％～26.1％	—	0.1％	—
雑 草 の 種 類	オオアレチノギク	2.7	0	0	14	0	—
	オヘビイチゴ	0	0	1.2	0	0	—
	カタバミ	0	0	0	10	0	—
	コメヒシバ	0	0	2.6	44	0	—
	スイハ	0.3	0	0	0	0	—
	スギナ	0	0	24	56	5.2	—
	セイダカアワタチソウ	1.3	5	0	0	0	—
	タカサブロウ	0.3	0	0	0	0	—
	タンポポ	0	0	0	0	0.7	—
	チガヤ	0	0	1.2	2	0.3	—
	ノゲシ	1.3	21	0	0	0	—
	ハコベ	0	0	0	0	0.3	—
	メヒシバ	0	572	0	213	0	—
	ヤブマメ	0	0	6.8	42	0	—
	ヨメナ	0	0	0	0	0.3	—
	ヨモギ	1.3	180	1.2	24	0	—
合 計		7.2	778	37.0	405	6.8	—
調 査 期 日		1993年7月15日		1993年8月19日		1993年6月20日	

注) ①表内の数字は雑草の発生量（本/m²）

②シバザクラはまだ被覆が不十分な状態

0.1%と光の透過は少なく、さきに述べた雑草の発生を抑制できる5.8%以下の相対照度を示した。

一方、シバザクラの植栽地では株元部5.8%に対して先端部は26.1%と比較的大きな相対照度を示した。したがって、もう少し生育が進み被覆密度が高くなれば全面を相対照度5.8%以下に抑えることができるものと推察される。

雑草の発生は光の透過度とほぼ対応した関係を示し、いずれの植栽地においても対照区に比べると雑草の発生が極めて減少した。

すなわち、雑草の発生は対照区では405~778本/m²と多かったのに対し、地被植物植栽地においてはシロツメクサ及びマツバギクの植栽地では7本/m²程度、被覆が不十分であるシバザクラの植栽地でも37本/m²と少ない傾向が認められた。

4. おわりに

中山間地域では農地斜面の雑草管理に多大の労力を必要とする。しかもその作業は一般に夏の暑い時期に多いもので、農業従事者が高齢化・婦女子化してきた昨今では危険や苦痛を伴う作業となっている。

一方、耕地雑草のうち70%は光が当たらないと発芽が誘起されないといわれている(植木ら1977)が、本調査の結果は、地被植物で光の透過を遮断すれば雑草の発生を抑制でき、農地斜面の管理方法として一つの有力な方法であることを示している。

このような、自然環境を利用した農地斜面の雑草管理を行う生物的管理法は最も望ましいも

のと考えられる。この場合、草丈が低く(およそ20~30cm以下)、地表面を密に覆って雑草を制御し、美しい景観が形成でき、できれば花をつけるような植生の導入が望まれる。生物的管理法を確立するためには、農地斜面に適した地被植物の選定、植生による雑草制御機構の解明、適正な播種・移植時期並びに栽植密度、移植労力の軽減方策、生育初期段階での除草管理労力軽減対策、長期間維持するための管理方法など種々の検討が今後の課題である。

なお、これらの技術が確立できれば、農村公園としての利用、ルーラルツーリズムなどに活用でき、農村と都市の交流に資するものと考えられる。

引用文献

- 植木邦和ら(1977) 雑草防除大要 養賢堂
- 江崎次夫ら(1992) 造園用樹草の現存量と根系の強さについて 造園雑誌第55巻第5号 p181~186
- 江崎次夫ら(1992) 防災的見地からみた堤防のり面雑草類の利用 雑草研究 Vol. 37(3) p239~247
- 江崎次夫(1994) 堤防のり面植生の刈取り時期について 日本雑草学会中国・四国支部研究会会報p240
- 川崎哲郎ら(1998) 一農作業の現状と作業合理化のための技術的課題— 西南暖地における大規模稲経営の確立に関する研究 農作業研究 第33巻第4号 p197~204
- 三上常夫ら(1992) グラウンドカバープランツ ワールドグリーン社

**省力タイプの
高性能一発処理
除草剤シリーズ**

**問題雑草を
一掃!!**





アセナ



ホタルイ



コブキ



ミスアオイ



ミスカヤツリ



イボクサ

水稲用初・中期一発処理除草剤
ダイナマン

1キロ粒剤75 **D1**1キロ粒剤51




水稲用初・中期一発処理除草剤
ダイナマン

フロアブル
ダイナマンフロアブル
ダイナマンLフロアブル



Dフロアブル



水稲用初・中期一発処理除草剤 **ダイナマン** ジャンボ



水稲用一発処理除草剤 **マサカリ** ジャンボ



日本農薬株式会社
東京都中央区日本橋1丁目2番5号
ホームページアドレス <http://www.nichino.co.jp/>

●使用前にはラベルをよく読んでください。
●ラベルの記載以外には使用しないでください。
●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。
※空容器は農場に放置せず。
●環境に影響のないように適切に処理してください。

**水田除草は
ホームラン剤で
キメる!**



ミスターホームラン は決め手が3つ!

水稲用一発処理除草剤



1キロ粒剤75/1キロ粒剤51

水稲用一発処理除草剤



フロアブル/Lフロアブル

水稲用一発処理除草剤



ジャンボ/Lジャンボ

新登場!

水稲用一発処理除草剤
SU抵抗性雑草防除の切り札

ホームランキング
フロアブル/Lフロアブル



水稲用一発処理除草剤
2成分で頑固な雑草を一掃

ホームラン 1キロ粒剤51





「低コスト」「省力」「安全」ニーズに応えるホームラン剤

●ノビエ2.5葉期まで効果がある(ジャンボ剤は2葉期まで)

●ノビエに対する効果がなが〜く続く

●稲への安全性が高い

JAグループ
農協 | 全農 | 経済連

北興化学工業株式会社
〒103-8341 東京都中央区日本橋本町4-4-20
ホームページアドレス <http://www.hokkochem.co.jp>

- 15 -

選べる3剤型!!早めにつかって長く効く!

安心がプラス!

アゼナ、ホタルイ等への効果をプラス。

水稲用一発
処理除草剤



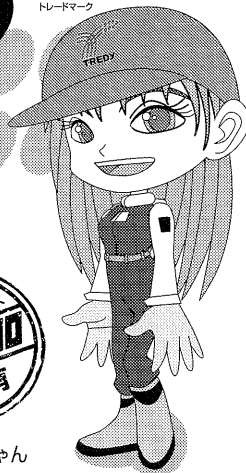
トレディプラス[®] 顆粒

トレディプラス[®] ジャンボ[®]

トレディプラス[®] 1キロ 粒 剤



トレフィちゃん



JAグループ
農 協 | 全 農 | 経済連
登録商標 第1902445号

★ 日産化学工業株式会社
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-7-1 (興和一橋ビル)
TEL 03(3296)8141 <http://www.nissan-nouyaku.net/>



石原の除草剤

水稲用
除草剤

●水田初期除草剤/抵抗性ホタルイ防除に!

ワンバスト[®] フロアブル

●水田初期一発処理除草剤/コンパクトでビッグな手応え

ワンボールS[®] 1キロ粒剤

野菜、畑作、
果樹用除草剤

●イネ科雑草専用除草剤/確かな選択、しっかり除草

ワンサイドP[®] 乳剤

芝生用除草剤

●芝生用除草剤/少量散布で大きな効きめ

シバゲン[®] 水和剤

●水田後期除草剤/難防除多年生雑草に

ガラスジーンM[®] ナトリウム剤

●安心、実績の水田後期除草剤

2,4-D剤/MCP剤

●飼料用とうもろこし専用除草剤/雑草見てから除草

ワンホープ[®] 乳剤



製造 石原産業株式会社
販売 石原バイオサイエンス株式会社

〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番30号

ホームページ アドレス <http://www.iskweb.co.jp/isj/>

リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験に関する現地研究会に参加して

群馬県農業技術センター 荒木智哉

平成18年8月1日から2日にかけて、リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験に関する現地研究会が岩手県にて開催された。

本現地研究会の目的は、リンゴの省力的栽培には欠かすことのできない摘花・摘果剤等の生育調節剤や除草剤について、その特性や効率的な試験研究方法等を検討し、今後の試験研究の円滑な推進の資とすることである。対象は、都道府県のリンゴ関係試験研究機関及び日本植物調節剤研究協会の担当者等で、29名の参加があった。

研究会の内容は、以下の通りである。

【第1日目】

1. 果樹における除草剤・生育調節剤の開発の現状

日本植物調節剤研究協会企画調整室 岡本浩一郎室長

最近10年間の除草剤・生育調節剤委託試験等の現状と推移について、スライドを用いて説明された。果樹分野では除草剤の試験薬剤数が年々減少しているが、生育調節剤の試験薬剤数はほぼ一定であった。他の分野に比べ園芸分野は生育調節剤の試験割合が大きく、特に果樹においてその割合が大きくなっている。リンゴ栽培における生育調節剤の重要性、メーカーの関心および開発意欲の高さが要因となっているようである。

2. リンゴ園に生育する雑草種の識別、動態と生態的特性

中央農業総合研究センター雑草バイオタイプ・総合防除研究チーム 浅井元朗 上席研究員

リンゴ園の位置する気象条件と管理体制の視点から、雑草の動態と生態的特性が説明された。浅井氏はリンゴ園の植生を調査されたことはなく、除草剤試験成績書に記載のある草種名等から推察されたそうであるが、その正確な説明にはおどろかされた。さらに、分類群ごとの雑草種の識別のポイントが紹介され、特にイネ科雑草について大変参考になった。また、トランセクトポイント法という雑草の被度調査方法も紹介された。

3. 除草剤の特性と効果的な試験方法

東京農業大学短期大学部 鈴木邦彦教授

除草剤の実用化試験を実施する場合の効率的な試験成績のとりまとめ方、圃場の選定方法、試験担当者が遠観で判定している殺草効果や再生程度の客観的な判定基準等について提言がなされた。それらの提言は、試験実施中に私自身を感じていることだけではなく、また改めて気づかされた部分もあり、今後の試験に役立てていきたいと思う。

【第2日目】

4. 植物調節剤の特性と効果的な試験方法

県立広島大学大学院総合学術研究科 近藤悟教授

ジャスモン酸、アブシシン酸およびエチレンを中心として、その代謝および外生処理の効果の相違について紹介された。そして効率的な植物調節剤の試験を行うためには、①内生生理活性物質の動態に応じた使用と処理時期・濃度の選択、②商品性向上といった植物調節剤によるメリットの明確化、等が必要であると説明された。

5. リンゴにおける除草剤・生育調節剤の試験方法の検討

果樹研究所リンゴ研究チーム 別所英男チーム長

除草剤については「果樹関係除草剤・抑草剤実施基準（平成14年改訂版）」に基づき行うことを確認し、その後一部変更した点の確認と検討を行った。生育調節剤については「果樹関係除草剤・生育調節剤試験実施基準（平成3年改訂版）」に基づき試験を行うことを確認し、試験方法等について詳しく書かれていない部分の問題点の指摘と試験・調査方法（案）の説明後、各県担当者の事例紹介を交えながら検討が進められた。

6. 果樹研究所リンゴ研究拠点視察

現地研究会閉会後、果樹研究所リンゴ研究拠点の視察が希望者を対象に行われた。圃場を歩きながらリンゴ研究拠点の概要説明と現在行われている試験の説明があった。特に、農薬飛散防止対策の一環として行われていた葉液のかかり易い樹形の試験は興味深く見せていただいた。視察のしめくくりに見た‘ふじ’の原木が印象的であった。また、雑草識別について講義された浅井氏より、実物の雑草を前に識別のポイント説明があり、最後まで有意義な現地研究会となった。

今回の現地研究会では、除草剤・生育調節剤試験を担当するに当たって必要となる多くの事を学ぶことができた。また、植物調節剤研究協会の方々やリンゴ研究所の方々、そして他都道府県の試験研究機関の方々等と知り合いになれる良い機会となった。私は、今春からリンゴ関係の試験研究に携わることとなったが、1年目にこのような現地研究会に出席できる機会を得られたことはとても幸運であった。今回得られた多くの事柄を今後の試験研究に活かしていきたいと思う。

新刊

シダ植物

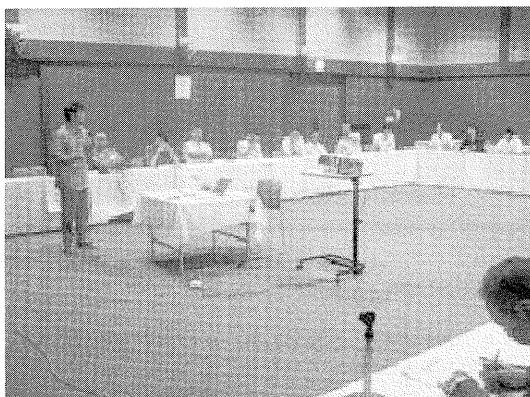
村田威夫・谷城勝弘／著
A5判 136頁
定価：1,905円＋税

「シダ」という植物は、わかりにくく難しいと思われがちですが、「くらし」と「かたち」を通して植物としての特徴をよく理解することによって、身近なものになってきます。本書はシダの形態、生態からシダの調べ方、身近なシダ90種の図鑑部を含む最適の入門書です。

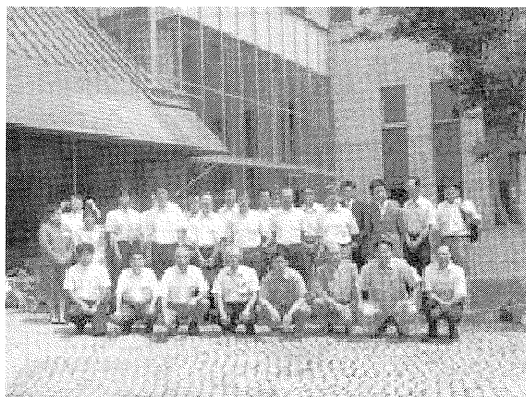
全国農村教育協会

〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6
TEL03-3839-9160 FAX03-3839-9172

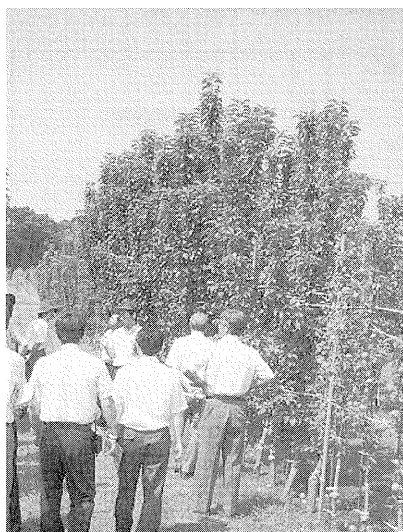
ホームページ <http://www.zennokyo.co.jp>
Eメール: hon@zennokyo.co.jp



(現地研究会会場)



(現地研究会会場前にて集合写真)



(果樹研究所視察)



(‘ふじ’ 原木：果樹研究所)

新刊

きのこ博士入門

根田仁／著 伊沢正名／写真
A5判 170頁
定価：1,700円＋税

きのこの図鑑というと、秋の季節もので、もっぱら「食用」か「毒」といったことだけに話題が集中しているようですが、本当は春、夏、冬にも発生する生き物で、菌であるがゆえの不思議さと魅力に満ちています。本書はきのこの生態を中心に、自然界での役割について紹介しています。

全国農村教育協会

〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6
TEL03-3839-9160 FAX03-3839-9172

ホームページ <http://www.zennokyo.co.jp>
Eメール：hon@zennokyo.co.jp

平成18年度茶園関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成18年度茶園関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成18年11月13日(月)に島田市公共施設 歩歩路において開催された。

この検討会には、試験場関係者8名、委託関係者6名ほか、計17名の参集を得て、除草剤2薬剤(8点)について、

試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成18年度 茶園関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類・継 続の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草:ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判定	判定内容
1. NC-622液 グリホサートカリウム塩 48% [日産化学工業]	茶	適用性 継続	埼玉農総セ 滋賀農総セ 京都茶研 香川満濃 (4)	[雑草全般(スギナを除く)] ・春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・200mL<25, 50> 500mL<25> ・茎葉処理(畦間処理) ・展着剤は加用しない 対) ランドアップ® 液剤 250mL<25>	実	実) [雑草全般(スギナを除く)] ・春～夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・200～500mL<25～50L>/10a ・茎葉処理(うね間処理) 注) 専用ノズルを使用する。
2. SYJ-171液 ハ・ラクトシ・クロリト 100g/L [シンジエンタージャパン]	茶	適用性 新規	静岡茶試 京都茶研 香川満濃 熊本茶研 (4)	[一年生雑草] ・春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・500mL<100, 150> 1000mL<100> ・茎葉処理(畦間処理) ・展着剤は加用しない 対) 一任	継	継) 効果、薬害の確認



平成18年度常緑果樹関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成18年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績
検討会は、平成18年11月16日(木)～17日(金)に大阪コ
ロナホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者32名、委託関係者23
名ほか、計63名の参集を得て、除草剤4薬剤(52点)、

生育調節剤6薬剤(29点)について、試験成績の報告と検
討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表
に示す通りである。

平成18年度 常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類・継 続の別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判定	判定内容 (アングラーは拡大部分)
1. MON-96A液 グリホサートアンモニウム塩 41% [日産化学工業]	カンキツ	適用性 継続	果樹研カンキツ(口之 津)<秋> 高知農技果試<秋> 熊本農研天草<秋> 鹿児島農総果樹 <秋> (4)	[マルハ ツクサ] ・夏期および秋期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・500mL<25, 100> 1000mL<25> ・茎葉処理 ・展着剤不要 対)ラウンドアップハイロード液 500mL<50>	実・ 継	実) [カンキツ: 雑草全般] ・春～夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) 一年生雑草対象; 250～500mL/10a <25～50L/10a(専用ノズル 使用)、50～100L/10a> 多年生雑草対象; 500～1000mL/10a <25～50L/10a(専用ノズル 使用)、50～100L/10a> スギナ対象; 1500～2000mL/10a <25～50L/10a(専用ノズル 使用)> マルハ ツクサ対象; 草丈30cm以下 500～1000mL/10a <25～50L/10a(専用ノズル 使用)、50～100L/10a> 草丈60cm以下 2000mL/10a<50L/10a> 1回または2回処理 茎葉処理 ・秋冬期、 雑草生育期(草丈30cm以下) 250～500mL/10a <25～50L/10a(専用ノズル 使用)、50～100L/10a> 茎葉処理。 継) ・マルハ ツクサに対する秋期処理で の効果の確認

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ＜＞は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量・mL/水量L/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 (アンダーラインは拡大部分)
2. NC-622液 グリホサートカリウム塩 48% [日産化学工業]	カンキツ	適用性 継続	山口萩柑試 福岡農総試 (2)	[一年生雑草] ・ 春期および夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 200mL/25, 100> 500mL/25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)ラウンドアップ液 250mL/50>	実・ 継	[カンキツ: 雑草全般] ・ 春～夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) 一年生雑草対象; 200～500mL/10a ＜25～50L/10a(専用ノズル 使用)、50～100L/10a> 多年生雑草対象; 500～1000mL/10a ＜25～50L/10a(専用ノズル 使用)、50～100L/10a> スギナ対象; 1500～2000mL/10a ＜25～50L/10a(専用ノズル 使用)、50～100L/10a> マルバツツクサ対象; 草丈30cm以下 500～1000mL/10a 草丈60cm以下 1000～1500mL/10a ＜25～50L/10a(専用ノズル 使用)、50～100L/10a> 茎葉処理 継) ・ スギナに対する翌年の発生防止 効果の年次変動確認
	カンキツ	適用性 継続 (H17)	宮崎総農試(春) (1)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 200mL/25, 50, 100> 500mL/25, 100> ・ 茎葉処理 対)ラウンドアップ液 250mL/25>		
	カンキツ	適用性 継続	山口大島柑試 福岡農総試 (2)	[多年生雑草] ・ 春期および夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 500mL/25, 100> 1000mL/25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)ラウンドアップ液 500mL/50>		
	カンキツ	適用性 継続 (H17)	宮崎総農試(春) (1)	[多年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 500mL/25, 50, 100> 1000mL/25, 100> ・ 茎葉処理 対)ラウンドアップ液 500mL/25>		
	カンキツ	適用性 継続	千葉暖地園研<翌年> 大阪食とみどり<翌年> 山口大島柑試<翌年> 徳島果樹研<翌年> 熊本農研果樹<翌年> (5)	[スギナ] ・ スギナ生育期(草丈20～25cm) ・ 1500mL/25, 50, 100> 2000mL/25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)ラウンドアップ液 2000mL/50>		
	カンキツ	適用性 新規 (H17)	山口大島柑試 (1)	[スギナ(翌年の発生防止)] ・ スギナ生育期(草丈20～25cm) ・ 1500mL/50, 100> 2000mL/50> ・ 茎葉処理 対)ラウンドアップ液 2000mL/50>		
	カンキツ	適用性 継続	鹿児島大学<秋> 熊本農研天草 ＜宮崎総農試亜熱帯> 鹿児島農総果樹 (4)	[マルバツツクサ] (夏期処理) ・ 夏期(草丈30cm以下) ・ 500, 1000mL/25, 100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 (秋期処理) ・ 秋期(草丈60cm以上) ・ 1000, 1500mL/25, 100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 参)NC-622液 1000mL/50>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 (アングラーは拡大部分)
[委託者]	カンキ	適用性 新規 (H17)	宮崎総農試亜熱帯 (夏) (1)	[マルハ ツツカ] ・ 夏期 (草丈30cm以下) 500, 1000mL<50> 茎葉処理 ・ 秋期 (草丈60cm以上) 1000, 1500mL<50> 茎葉処理 対)ハース液 500mL<100>	—	
	カンキ	薬害 継続	広島果樹柑橘研 徳島果樹研 (2)	[薬害試験] ・ 春期→夏期 (2回処理) 4000mL→4000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 10000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 25倍 樹幹処理 展着剤不要		
	ヒワ	薬害 継続	千葉暖地園研 香川農試府中 (2)	[薬害試験] ・ 春期→夏期 (2回処理) 4000mL→4000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 10000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 25倍 樹幹処理 展着剤不要		
3. SYJ-171液 ハ'ラコートシ'クロリト' 100g/L [シンジェンタ ジャパン]	カンキ	適用性 継続	鹿児島大学 広島果樹常緑研 香川農試府中 宮崎総農試 (4)	[一年生雑草] ・ 春期および夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)ブ'リク'ロックSL液 800mL<100>	実 ・ 継	実) [カンキツ:雑草全般(スギナを除 く)] ・ 春~夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) 一年生雑草対象; 500~1000mL/10a <100~150L/10a> 多年生雑草対象; 1000~2000mL/10a <100~150L/10a> 茎葉処理 継) ・ スギナに対する効果の確認
	カンキ	適用性 新規 (H17)	宮崎総農試 (秋) (1)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 茎葉処理 対)ブ'リク'ロックSL液 800mL<100>		
	カンキ	適用性 継続	鹿児島大学 広島果樹常緑研 香川農試府中 宮崎総農試 (4)	[多年生雑草,スギナ] ・ 春期および夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 1000mL<100, 150> 2000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)ブ'リク'ロックSL液 1500mL<100>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容 (アンダーラインは拡大部分)
	カンキツ	適用性 新規 (H17)	宮崎総農試(秋)(1)	[多年生雑草:ｽﾎﾟﾅ] ・春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・1000mL<100, 150> 2000mL<100> ・茎葉処理 対)ﾌﾞﾗｸﾞﾛｯｸｽL液 1500mL<100>		
	カンキツ	薬害 継続	広島果樹柑橘研 徳島果樹研 (2)	[薬害試験] ・春期→初夏→夏→初秋 (3回処理) 4000mL→4000mL→4000mL <100> 土壌処理 展着剤不要 ・夏期または夏期(1回処理) 10000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・春期または夏期(1回処理) 50倍 枝葉処理 展着剤不要		
4. 2K-122液 ｸﾞﾘﾎｻｰﾄｶﾘｳﾑ塩 43% [ｼﾝｼﾞｪﾝﾀﾞｼﾞﾎﾟﾝ]	カンキツ	適用性 新規	三重農研紀南 愛媛果試 長崎果試 (3)	[一年生雑草] ・春期および夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・250, 500mL<100> ・茎葉処理 ・展着剤不要 対)ﾀｯﾁﾀﾞｳﾝiｹ液 500mL<50>	実 ・ 継	実) [カンキツ:雑草全般] ・春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下) 一年生雑草対象; 200～500mL/10a <10L(10L専用/ｽﾎﾟﾅ使用)> 250～500mL/10a <25～50L/10a(専用/ｽﾎﾟﾅ 使用)、50～100L/10a> 多年生雑草対象; 500～1000mL/10a <10L/10a(10L専用/ｽﾎﾟﾅ 使用)、25～50L/10a(専用 /ｽﾎﾟﾅ使用、50～100L/10a)> ｽﾎﾟﾅ対象; 1500～2000mL/10a <25～50L/10a(専用/ｽﾎﾟﾅ 使用)> 茎葉処理 継) ・効果、薬害について年次変動の 確認

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容 (アンダーラインは拡大部分)
--------------------------------------	-----	--------------------------	---------------------------	---	--------	------------------------

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < >は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 (アングラーは拡大部分)
1. AKD-8147水溶 1-ナフタレン 酢酸ナトリウム 22% [アガロネショウ]	ウンシュウミ カン	適用性 新規	<果樹研カンキツ(口之 津)> <三重大> <愛知農総試蒲郡> 佐賀果試<花芽分 化, 着花調査> (4)	[結果母枝の充実、着花促進] ・ 夏秋梢萌芽時 2~3回 ・ 1000, 2000倍 ・ 立木全面散布	継	[結果母枝の充実、着花促進] ・ 効果、薬害の確認
		適用性 (H17 自主)	愛知農総試蒲郡 (1)	[結果母枝の充実、着花促進] ・ 夏秋梢萌芽時 2回 ・ 1000倍 ・ 立木全面散布		
	不知火	作用性 新規	<果樹研カンキツ(口之 津)> <鹿児島大学> <熊本農研果樹> <愛媛果試> (4)	[果実肥大促進] ・ 果実肥大期 2回 (7~8月の摘果後) ・ 4000, 8000倍 ・ 立木全面散布 または枝別散布	—	
	ウンシュウミ カン	作用性 継続 (H17)	果樹研カンキツ(口之 津) (1)	[夏秋梢発芽抑制] ・ 夏秋梢萌芽期 ・ 1000倍 ・ 立木全面散布または枝別散布	実	実) 前年どおり [ウンシュウミカン: 夏秋梢発芽 抑制] ・ 新梢萌芽前 2~3回散布 ・ 1000~2000倍 ・ 散布
	ウンシュウミ カン	適用性 継続 (H17)	高知農枝果試 佐賀果試 宮崎総農試 (3)	[夏秋梢発芽抑制] ・ 夏秋梢萌芽期及び再萌芽時 3回散布 ・ 1000, 2000倍 ・ 立木全面散布または枝別散布 対) フィガロン乳		
	ウンシュウミ カン	作用性 新規 (H16)	果樹研カンキツ(口之 津) (1)	[夏秋梢伸長抑制(果実品質へ の影響)] ・ 夏秋梢発芽時及び再発芽時 3回散布 ・ 1000~2000倍 ・ 立木全面散布または枝別散布 対) フィガロン乳		
2. PDJ+ジ'ベ'リン 液 +水溶 ブ'ロヒト'ロシ'ヤスモン 5%, ジ'ベ'リン 3. 1% [日本ゼ'ン]	ウンシュウミ カン	適用性 継続	<静岡柑試伊豆> <山口大島柑試> <徳島果樹研> <愛媛果試> <熊本農研果樹> (5)	[浮皮軽減] ・ 収穫予定3ヶ月前 ・ PDJ+ジ'ベ'リン: 50ppm+5ppm, 50ppm+3. 3ppm, 25ppm+5ppm, 25ppm+3. 3ppm ・ 果実を中心に全面散布 ・ 展着剤不要	実・ 継	実) [ウンシュウミカン: 浮皮軽減] ・ 収穫予定3ヶ月前 ・ ジ'ベ'リン3. 3~5ppm+PDJ25~ 50ppm ・ 散布(果実表面に十分付着する よう) 注) ・ 使用時に混用する ・ 着色が遅延することがあるた め、貯蔵用のウンシュウミカンで使用する 継) ・ 年次変動の確認
	ウンシュウミ カン	適用性 継続 (H17)	静岡柑試伊豆 山口大島柑試 愛媛果試 徳島果樹研 熊本農研果樹 (5)	[浮皮軽減] ・ 収穫予定3ヶ月前 ・ PDJ+ジ'ベ'リン: 50ppm+5ppm, 50ppm+3. 3ppm, 25ppm+5ppm, 25ppm+3. 3ppm ・ 果実を中心に全面散布		

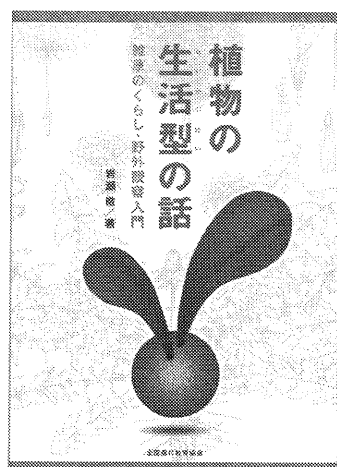
B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 (アンダーラインは拡大部分)
3. RIC-1液 海藻糖シネート [ロイヤル インダストリーズ]	ウンシュウミ かん	適用性 継続	<山口大島柑試> (1)	[隔年結果軽減] ①土壌と葉面への組合せ処理 ・ 2月 1L:土壌処理 →4, 5, 6月 2000倍:葉面散布 →12月 1000倍:葉面散布 (計5回処理) ②葉面への反復処理 ・ 3, 4月 1000倍:葉面散布 →5, 6月 2000倍:葉面散布 →12月 1000倍:葉面散布 (計5回処理)	継	継) [隔年結果軽減] ・ 効果、葉害の確認
	ウンシュウミ かん	適用性 継続 (H17)	和歌山果試 広島果樹常緑研 山口大島柑試 熊本農研本草 (4)	[隔年結果軽減] ・ 2~3月:1L:土壌処理 →5月:3000倍:葉面散布 →12月:1000倍:葉面散布 (3回処理) ・ 3月:1000倍:葉面散布 →5月:3000倍:葉面散布 →12月:1000倍:葉面散布 (3回処理)		
	はるみ	適用性 新規	<広島果樹柑橘研> <山口大島柑試> <愛媛果試岩城> <宮崎総農試亜熱帯> (4)	[樹勢回復、隔年結果軽減] ①土壌と葉面への組合せ処理 ・ 2~3月 1L:土壌処理 →4, 5, 6, 8, 10, 12月 3000倍:葉面散布 (計7回処理) ②葉面への反復処理 ・ 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12月 3000倍:葉面散布 (計9回処理)	一	
	ウンシュウミ かん	適用性 新規	長崎果試 (1)	[落果防止] ・ 落花後 ・ 2000倍 3回散布 (10日間隔) ・ 葉面散布	継	継) [落果防止] ・ 処理時期と効果、葉害の確認
4. ジベレリン水溶 ジベレリン 3.1% [協和発酵工業]	ウンシュウミ かん	適用性 継続	静岡柑試 広島果樹常緑研 愛媛果試 福岡農総試 長崎果試 (5)	[落果防止] ・ ①満開7~10日後 ②満開3~5日後 ③開花始め ・ 25, 50ppm ・ 果実散布 (枝別)	実 ・ 継	実) [カンキツ (温州ミカン、伊予柑、不知火、サガマダリ、ぼんかん: 落果防止) ・ 開花始め~満開 10 日後 ・ 25~50ppm ・ 散布 継) ・ 年次変動の確認
	香酸カン キツ (カボ ス、スター チ)	適用性 継続	徳島果樹研 (スターチ) 大分津久見 (カボス) (2)	[果皮の緑色維持] ・ ①収穫予定約30日前 ②収穫予定約10日前 ・ 10, 50ppm ・ 立木全面散布	実 ・ 継	実) [カボス、スターチ: 果皮の緑色維持] ・ 収穫予定7~30日前 ・ 10~50ppm ・ 散布 (果実表面に十分付着するよう) 継) ・ スターチでの年次変動の確認

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < >は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 (アングラーラインは拡大部分)
5. HOK-813乳 MCPAチオエチル 20% [北興化学工業]	ハッサク	適用性 継続 (H17)	和歌山果試 広島果樹柑橘研 徳島果樹県北 (3)	[冬期落果防止] ・ 11~1月 ・ 2000倍→2000倍, 3000倍→3000倍 <300~400> (2回処理) ・ 立木全面散布 対) マツ ヱク乳 3000倍	実	実) [日向夏、ハッサク:冬期落果防 止] ・ 11月~1月 2回散布 ・ 2000~3000倍 <300~400L/10a> ・ 散布 注) 近接散布を避ける
	清見	適用性 (H17 自主)	和歌山果試 (1)	[冬期落果防止 (翌年の新梢への 影響)] ・ 11~12月 ・ 3000倍→3000倍, 4000倍→4000倍 <300~400> (2回処理) ・ 立木全面散布		
6. AKD-8083EW MCPB 20% [アガロネシヨ]	まりひ め、 ひめの つき、 愛媛果 試第28 号、 ボンカン	適用性 (H17 自主)	愛媛果試 (1)	[へた落ち防止] ・ 収穫開始予定日の20日前 ・ 2000倍 ・ 立木全面散布	実	実) 前年どおり [カンキツ:へた枯れ、へた落ち 防止] ・ 収穫開始予定日の20~10日前 1回散布. ・ 2000~3000倍 <300~400L/10a> ・ 立木全面散布

「生活型」をわかりやすく解説した、待望の普及書完成!



せい かつ けい 植物の生活型の話

—雑草のくらし・野外観察入門—

岩瀬 徹/著 A5判 定価(1,500円+税)

植物にもライフスタイルがある

「生活型」とは、系統分類とは異なり、植物が環境との関わりの中で編み出してきたライフスタイル・生き残りの工夫に注目して整理した分類法。系統は違っても、同じようなライフスタイル…生活型を身につけ、生き抜く仲間がいる…。自然との接し方に一石を投じ、より深くたのしい野外観察の方法を提案する、画期的な内容。野外観察・環境調査に興味がおありの方に。

【好評既刊『日本原色雑草図鑑』『浅野貞夫日本植物生態図鑑』のサブテキストとしてもお薦め】

全国農村教育協会 〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6 | ホームページ: <http://www.zennokyo.co.jp>
Tel.03-3839-9160 Fax.03-3839-9172 | Eメール: hon@zennokyo.co.jp

新登録除草剤・植物成長調整剤一覧

農林水産省消費・安全局農産安全管理課
平成18年4月1日～平成18年10月30日

(1) 水稻

種類名	商品名	有効成分の種類 および含有量	剤 型	適用作 物名	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用量	使用時期	使用 方法	使用回数	登録会社
アニロホ ス・ダイム ロン・ベン スルフロ ンメチル 剤	ガスバ1キ ロ粒剤51	1-(α , α -ジメチルベン ジル)-3-(パラトリル)尿 素...4.5%, メチル= α - (4,6-ジメチルピリジン- 2-イルカルバモイルスルファ モイル)-o-トルアート... 0.51%, S-4-クロロ-N-イ ソプロピルカルバニロイルメ チル=0,0-ジメチル=ホスホ ロシチオアート...4.5%	粒 剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、ミズカヤツリ、ウ リカワ、ヒルムシロ(九州)、セ リ、アオミドロ・藻類による 表層はく離(近畿・中国・ 四国)	近畿・中国・ 四国、九州 の普通期栽 培地帯、九 州の早期栽 培地帯	壤土～埴 土	1kg/10a	移植後3～ 15日(ビエ 2.5葉期ま で)	湛水 散布	本剤の使用回 数...1回、アニロ ホスを含む農薬の 総使用回数...2 回以内、ダイムロ ンを含む農薬の総 使用回数...3回 以内(育苗箱散布 は1回以内、本田 では2回以内)、ベ ンスルフロンのメ チルを含む農薬の 総使用回数...2 回以内	三共アグロ (株)、デュー ン(株)
シハロホ ップブル ン・ベン シクロ ン・MCP B粒剤	カービー1 キロ粒剤	2-メチル-4-クロロフェノキシ 酢酸エチル...2.4%、ブ チル(R)-2-[4-(4-シ ノ-2-フルオロフェノキシ)フェ ノキシ]プロピオナート... 1.8%、3-(2-クロロ-4-メ シルベンゾイル)-2-フェニ ルチオビシクロ[3.2.1]オク タ-2-エン-4-オン... 2.0%	粒 剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、ミズカヤツリ、ウ リカワ(北陸、関東・東山・東 海、近畿・中国・四国)、ヒ ルムシロ(関東・東山・東 海、近畿・中国・四国、九 州)	北陸、関東 以西の普通 期及び早期 栽培地帯	砂壤土～ 埴土	1kg/10a	移植後20 ～30日(ビ エ3葉期ま で)[移植前 後の初期 除草剤によ る土壌処理 との体系で 使用]	湛水 散布	本剤の使用回 数...1回、シハロ ホップブルンを含 む農薬の総使用 回数...3回以内、 ベンシクロンを含 む農薬の総使用 回数...2回以 内、MCPBを含む 農薬の総使用回 数...2回以内	三共アグロ (株)、(株)エ ス・デー・エ ス・バイオテ ク、タウ・ケ ミカル日本(株)
オキサジ クロメホ ン・クロ メブロッ プ・プロ モブチド ・ベン スルフロ ンメチル 剤	ホームラン キングジ ャンボ、ゴ ウ ワンジ ャンボ	(RS)-2-(2,4-ジクロ ロ-m-トリルオキシ)プロピ オンアミド...6.0%、(RS)- 2-プロモ-N-(α , α -ジ メチルベンジル)-3,3-ジメ チルブチルアミド... 12.0%、メチル= α -(4,6- ジメチルピリジン-2-イ ルカルバモイルスルファモ イル)-o-トルアート... 1.5%、3-[1-(3,5-ジクロ ロフェニル)-1-メチルエチ ル]-3,4-ジヒドロ-6-メチ ル-5-フェニル-2H-1,3- オキサジン-4-オン... 1.2%	粒 剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、ウリカワ、ミズカ ヤツリ、ヒルムシロ、セリ、ア オミドロ・藻類による表層はく 離	東北	壤土～埴 土	小包装 (バッグ)10 個 (500g)/1 0a	移植後1～ 15日(ビエ2 葉期まで)	水田 に小 包装 (バッグ) のまま 投げ 入れ る。	本剤の使用回 数...1回、オキサ ジクロメホンを含む 農薬の総使用回 数...2回以内、ク ロメブロップを含む 農薬の総使用回 数...2回以内、プ ロモブチドを含む 農薬の総使用回 数...2回以内、ベ ンスルフロンのメ チルを含む農薬の 総使用回数...2 回以内	北興化学 工業(株)、デ ューン(株)、北 興産業(株)
オキサジ クロメホ ン・ベン スルフロ ンメチル ・ベン シクロ ン粒剤	プラスワ ン ジャンボ	メチル= α -(4,6-ジメチ ルピリジン-2-イルカルバ モイルスルファモイル)-o-ト ルアート...1.5%、3-[1- (3,5-ジクロロフェニル)-1- メチルエチル]-3,4-ジヒド ロ-6-メチル-5-フェニル- 2H-1,3-オキサジン-4- オン...1.2%、3-(2-クロ ロ-4-メチルベンゾイル)- 2-フェニルチオビシクロ [3.2.1]オクタ-2-エン-4- オン...4.0%	粒 剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、ウリカワ、ミズカ ヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルム シロ、セリ	東北	壤土～埴 土	小包装 (バッグ)10 個 (500g)/1 0a	移植後1～ 15日(ビエ2 葉期まで)	水田 に小 包装 (バッグ) のまま 投げ 入れ る。	本剤の使用回 数...1回、オキサ ジクロメホンを含む 農薬の総使用回 数...2回以内、ベ ンスルフロンのメ チルを含む農薬の 総使用回数...2 回以内、ベンシ クロンを含む農 薬の総使用回 数...2回以内	北興化学 工業(株)、デ ューン(株)
オキサジ クロメホ ン・ベン スルフロ ンメチル ・ベン シクロ ン水和 剤	プラスワ ン プロアブル	メチル= α -(4,6-ジメチ ルピリジン-2-イルカルバ モイルスルファモイル)-o-ト ルアート...1.4%、3-[1- (3,5-ジクロロフェニル)-1- メチルエチル]-3,4-ジヒド ロ-6-メチル-5-フェニル- 2H-1,3-オキサジン-4- オン...1.2%、3-(2-クロ ロ-4-メチルベンゾイル)- 2-フェニルチオビシクロ [3.2.1]オクタ-2-エン-4- オン...4.0%	水 和 剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、ウリカワ、ミズカ ヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルム シロ、セリ、アオミドロ・藻類 による表層はく離	東北	壤土～埴 土	500ml /10a	移植直後 ～移植後 15日(ビエ 2.5葉期ま で)	原液 湛水 散布	本剤の使用回 数...1回、オキサ ジクロメホンを含む 農薬の総使用回 数...2回以内、ベ ンスルフロンのメ チルを含む農薬の 総使用回数...2 回以内、ベンシ クロンを含む農 薬の総使用回 数...2回以内	北興化学 工業(株)、デ ューン(株)

(1) 水稻つづき

種類名	商品名	有効成分の種類 および含有量	剤 型	適用作 物名	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用量	使用時期	使用 方法	使用回数	登録会社
プレチラク ロール・ベ ンズルフロ ンメチル 粒剤	STゴロポ 1キロ粒剤 51	2-(2-クロロ-2',6'-ジエチル N-(2-プロポキシエチル) アゼトニリド...6.0%, メ チル=α-(4,6-ジメトキシ ピリミジン-2-イルカルハモ イルスルファモイル)-o-トル アト...0.51%	粒 剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガ ヤツリ、オモダカ、ヒルムシロ、 クロクワイ、セリ、アオミドロ・藻 類による表層はく離	北陸・関東・ 東山・東海 の早期栽培 地帯	壤土～埴 土(減水深 2cm/日以 下)	1kg/10a	移植後3～ 13日(ビエ の2.0葉期 まで)	湛水 散布	本剤の使用回 数...1回、プレチ ラクロールを含む 農薬の総使用回 数...2回以内、ベ ンズルフロンメチ ルを含む農薬の 総使用回数...2 回以内	住化武田 農薬㈱
						関東・東山・ 東海の普通 期栽培地帯		1kg/10a	移植後3～ 10日(ビエ の2.0葉期 まで)			
						近畿・中国・ 四国の早期 栽培地帯	壤土～埴 土(減水深 1cm/日以 下)	1kg/10a	移植後3～ 13日(ビエ の2.0葉期 まで)			
						近畿・中国・ 四国の普通 期栽培地帯			移植後3～ 10日(ビエ の2.0葉期 まで)			
						九州の早期 栽培地帯			移植後5～ 13日(ビエ の2.0葉期 まで)			
フェントラ ザミド・ベ ンゾフェ ナップ・ベ ンフレ ゼート粒 剤	バン チャー1キ ロ粒剤	2-[4-(2,4-ジクロロ-m トルオイル)-1,3-ジメチル ピラゾール-5-イルオキシ]- 4'-メチルアゼトフェノ... 8.0%, 2,3-ジヒドロ- 3,3-ジメチルベンゾフラン -5-イル=エタンスルホナ ト...5.0%, 4-(2-クロロ フェニル)-N-シクロヘキシル -N-エチル-4,5-ジヒドロ -5-オキソ-1H-テトラゾール -1-カルボキサミド... 3.0%	粒 剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガ ヤツリ(北海道を除く)、ヘラ オモダカ(北海道、東北)、 ヒルムシロ、セリ(近畿・中 国・四国)、アオミドロ・藻類 による表層はく離(北海 道、近畿・中国・四国、九 州)	北海道	壤土～埴 土	1kg/10a	移植後5～ 20日(ビエ 2.5葉期ま で)	湛水 散布	本剤の使用回 数...1回、フェント ラザミドを含む農 薬の総使用回 数...1回、ベンゾ フェナップを含む 農薬の総使用回 数...2回以内、ベ ンフレゼートを含 む農薬の総使用 回数...2回以内	ハリエル ク ロップサイ エンス㈱
						全域(北海 道、九州を 除く)の普通 期及び早期 栽培地帯			移植後5～ 15日(ビエ 2.5葉期ま で)			
						九州の普通 期及び早期 栽培地帯	砂壤土～ 埴土	1kg/10a	移植後5～ 15日(ビエ 2.5葉期ま で)			
フェントラ ザミド・ブ ロモブチ ド・ベンズ ルフロンメ チル水和 剤	バイエイレ ノバDX アップフロ アブル	(RS)-2-プロモ-N-(α, α-ジメチルベンジル)- 3,3-ジメチルアゾアミ ド...18.0%, メチル=α- (4,6-ジメトキシピリミジン 2-イルカルハモイルスルファ モイル)-o-トルアト... 1.4%, 4-(2-クロロフェ ニル)-N-シクロヘキシル-N- エチル-4,5-ジヒドロ-5- オキソ-1H-テトラゾール -1-カルボキサミド...4.0%	水 和 剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ミ ズガヤツリ(東北)、ウリカワ (北海道)、ヒルムシロ、セリ、 アオミドロ・藻類による表 層はく離	東北	壤土～埴 土	500ml /10a	移植後3～ 15日(ビエ 2.5葉期ま で)	原液 湛水 散布	本剤の使用回 数...1回、フェント ラザミドを含む農 薬の総使用回 数...1回、プロモ ブチドを含む農薬 の総使用回数...2 回以内、ベンズル フロンメチルを含 む農薬の総使用 回数...2回以内	ハリエル ク ロップサイ エンス㈱
						北海道		500ml /10a	移植後3～ 20日(ビエ 2.5葉期ま で)			
オキサジ アゾン・ク ロメブロッ プ水和剤	用心棒フ ロアブル	5-ターシャリーアチル-3- (2,4-ジクロロ-5-イソプロ ボキシフェニル)-1,3,4-オ キシアゾール-2(3H)-オ ン...6.7%, (RS)-2- (2,4-ジクロロ-m-トリオ キシ)プロピオンアミド... 6.7%	水 和 剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、アオミドロ・藻類 による表層はく離(北海 道を除く)	東北、北陸	砂壤土～ 埴土	300～ 500ml/1 0a	植代後～ 移植4日前 まで又は移 植直後～ 移植後5日 まで(ビエ1 葉期まで)	手振り 原液 湛水 散布	本剤の使用回 数...1回、オキサ ジアゾンを含む農 薬の総使用回 数...1回、クロメ ブロップを含む農 薬の総使用回数...2 回以内	ハリエル ク ロップサイ エンス㈱
						関東・東山・ 東海、近畿・ 中国・四国 の普通期及 び早期栽培 地帯	壤土～埴 土	300～ 500ml/1 0a				
						九州の普通 期及び早期 栽培地帯	砂壤土～ 埴土	500ml/1 0a				

種類名	商品名	有効成分の種類 および含有量	剤 型	適用作 物名	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	登録会社
オキサジ クロメホ ン・クロメ ブロップ・ プロモブ チド・ベン スルフロ ンメチル水 和剤	ゴウワンフ ロアブル	(RS)-2-(2,4-ジクロロ- m-トリロキシ)プロピオン アミド・・・6.0%、(RS)- 2-プロモ-N-(α , α -ジ メチルベンジル)-3,3-ジメ チルブチルアミド・・・ 12.0%、メチル = α -(4,6- ジメチルピリジン-2-イ ルカルバモイルスルファモイ ル)-オートルート・・・ 1.4%、3-[1-(3,5-ジクロ ロフェニル)-1-メチルエチ ル]-3,4-ジヒドロ-6-メチ ル-5-フェニル-2H-1,3- オキサジン-4-オン・・・ 1.2%	水 和 剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガ ヤツリ(東北)、ヘラオモガカ、 ヒルムシロ、セリ、アオミド ロ・藻類による表層はく離	北海道	砂壤土～ 埴土	500ml/1 0a	移植直後 ～移植後 20日(ビエ 2.5薬期ま で)	原液 湛水 散布	本剤の使用回 数・・・1回、オキサ ジクロメホンを含む 農薬の総使用回 数・・・2回以内、ク ロメブロップを含む 農薬の総使用回 数・・・2回以内、プ ロモブチドを含む 農薬の総使用回 数・・・2回以内、ベン スルフロンメチ ルを含む農薬の 総使用回数・・・2 回以内	北興産業 ㈱
オキサジ クロメホ ン・クロメ ブロップ・ プロモブ チド・ベン スルフロ ンメチル水 和剤	ゴウワンフ ロアブル	(RS)-2-(2,4-ジクロロ- m-トリロキシ)プロピオン アミド・・・6.0%、(RS)- 2-プロモ-N-(α , α -ジ メチルベンジル)-3,3-ジメ チルブチルアミド・・・ 12.0%、メチル = α -(4,6- ジメチルピリジン-2-イ ルカルバモイルスルファモイ ル)-オートルート・・・ 1.0%、3-[1-(3,5-ジクロ ロフェニル)-1-メチルエチ ル]-3,4-ジヒドロ-6-メチ ル-5-フェニル-2H-1,3- オキサジン-4-オン・・・ 1.2%	水 和 剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガ ヤツリ、ヒルムシロ、セリ、アオミ ドロ・藻類による表層はく 離(近畿・中国・四国、九 州)	北陸、関東 以西の普通 期及び早期 栽培地帯	砂壤土～ 埴土	500ml/1 0a	移植直後 ～移植後 15日(ビエ 2.5薬期ま で)	原液 湛水 散布	本剤の使用回 数・・・1回、オキサ ジクロメホンを含む 農薬の総使用回 数・・・2回以内、ク ロメブロップを含む 農薬の総使用回 数・・・2回以内、プ ロモブチドを含む 農薬の総使用回 数・・・2回以内、ベン スルフロンメチ ルを含む農薬の 総使用回数・・・2 回以内	北興産業 ㈱
オキサジ クロメホ ン・クロメ ブロップ・ プロモブ チド・ベン スルフロ ンメチル粒 剤	ゴウワン1 キロ粒剤5 1	(RS)-2-(2,4-ジクロロ- m-トリロキシ)プロピオン アミド・・・3.0%、(RS)- 2-プロモ-N-(α , α -ジ メチルベンジル)-3,3-ジメ チルブチルアミド・・・ 6.0%、メチル = α -(4,6- ジメチルピリジン-2-イ ルカルバモイルスルファモイ ル)-オートルート・・・ 0.51%、3-[1-(3,5-ジク ロフェニル)-1-メチルエチ ル]-3,4-ジヒドロ-6-メチ ル-5-フェニル-2H-1,3- オキサジン-4-オン・・・ 0.80%	粒 剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガ ヤツリ、ヒルムシロ、セリ、アオミ ドロ・藻類による表層はく 離	北陸、関東・ 東山・東海、 近畿・中国・ 四国の普通 期及び早期 栽培地帯	埴土～埴 土	1kg/10a	移植後5～ 15日(ビエ 2.5薬期ま で)	湛水 散布	本剤の使用回 数・・・1回、オキサ ジクロメホンを含む 農薬の総使用回 数・・・2回以内、ク ロメブロップを含む 農薬の総使用回 数・・・2回以内、プ ロモブチドを含む 農薬の総使用回 数・・・2回以内、ベン スルフロンメチ ルを含む農薬の 総使用回数・・・2 回以内	北興産業 ㈱
オキサジ クロメホ ン・クロメ ブロップ・ プロモブ チド・ベン スルフロ ンメチル粒 剤	ゴウワン1 キロ粒剤7 5	(RS)-2-(2,4-ジクロロ- m-トリロキシ)プロピオン アミド・・・3.0%、(RS)- 2-プロモ-N-(α , α -ジ メチルベンジル)-3,3-ジメ チルブチルアミド・・・ 6.0%、メチル = α -(4,6- ジメチルピリジン-2-イ ルカルバモイルスルファモイ ル)-オートルート・・・ 0.75%、3-[1-(3,5-ジク ロフェニル)-1-メチルエチ ル]-3,4-ジヒドロ-6-メチ ル-5-フェニル-2H-1,3- オキサジン-4-オン・・・ 0.80%	粒 剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、ウリカワ(北海 道)、ミズガヤツリ(東北)、ヘ ラオモガカ、ヒルムシロ、セリ、 アオミドロ・藻類による表 層はく離(北海道)	北海道	埴土～埴 土	1kg/10a	移植後5～ 20日(ビエ 2.5薬期ま で)	湛水 散布	本剤の使用回 数・・・1回、オキサ ジクロメホンを含む 農薬の総使用回 数・・・2回以内、ク ロメブロップを含む 農薬の総使用回 数・・・2回以内、プ ロモブチドを含む 農薬の総使用回 数・・・2回以内、ベン スルフロンメチ ルを含む農薬の 総使用回数・・・2 回以内	北興産業 ㈱
						東北		1kg/10a	移植後5～ 15日(ビエ 2.5薬期ま で)			

(1) 水稻つづき

種類名	商品名	有効成分の種類 および含有量	剤 型	適用作 物名	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用量	使用時期	使用 方法	使用回数	登録会社
イマノス ルフロシ ン・ビロ ン・チカル ブ・メフ エナ セット水 和 剤	STロン ゲットフ ロ アブル	1-(2-クロロイタリル[1,2- a]ピリジン-3-イル)スルホニ ル-3-(4,6-ジメチルピリ ジン-2-イル)尿素... 1.5%, 1-(α , α -ジメチ ルベンジル)-3-(パラトリ ル)尿素...18.0%, O- 3-tert-ブチルフェニル =6-メチル-2-ピリジル(メ チル)チオカルバマート... 10.0%, 2-ベンゾチア ゾール-2-イルオキシ-N-メ チルアセトアニリド...8.0%	水 和 剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガ ヤツリ(北海道を除く)、ヘラ オモダカ(東北)、ヒルムシロ (北陸を除く)、セリ、アオミ ドロ・藻類による表層はく 離(北陸を除く)	北海道	砂壤土～ 埴土(減水 深2cm/日 以下、但し、 砂壤土で は1.5cm/日 以下)	500ml/1 0a	移植直後 ～移植後 20日(ビエ 2.5葉期ま で)	原液 湛水 散布 又は 水口 施用 (東北)	本剤の使用回 数...1回、イマノ スルフロシ ンを含む農 薬の総使用回 数...2回以内、ダ イムロンを含む農 薬の総使用回 数...3回以内(育 苗箱散布は1回以 内、本田では2回 以内)、ビロビチ カルブを含む農薬 の総使用回数...2 回以内、メフエナ セットを含む農薬 の総使用回数...2 回以内	住化武田 農薬㈱
						東北、北陸、 関東・東山・ 東海の普通 期栽培地帯	砂壤土～ 埴土(減水 深2cm/日 以下)	500ml/1 0a	移植直後 ～移植後 15日(ビエ 2.5葉期ま で)			
						関東・東山・ 東海の早期 栽培地帯	砂壤土～ 埴土(減水 深2cm/日 以下、但し、 砂壤土で は減水深 1cm/日以下)	500ml/1 0a				
						近畿・中国・ 四国の普通 期栽培地帯 及び九州の 早期栽培地 帯	砂壤土～ 埴土(減水 深1.5cm/ 日以下)	500ml/1 0a				
						近畿・中国・ 四国の早期 栽培地帯	埴土～埴 土(減水深 1cm/日以下)	500ml/1 0a				
						九州の普通 期栽培地帯	砂壤土～ 埴土(減水 深2cm/日 以下)	500・ /10a				
ジメタメ リン・プレ チ クロール 粒剤	STバー ー 粒剤	2-メチルチオ-4-エチルア ミノ-6-(1,2-ジメチルプロ ピルアミノ)-s-トリアジ ン...0.10%, 2-クロロ- 2',6'-ジエチル-N-(2- プロポキシエチル)アセトア ニリド...2.0%	粒 剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ミ ズガヤツリ、アオミドロ・藻類 による表層はく離	東北・北陸 以北	砂壤土～ 埴土(減水 深2cm/日 以下)(但 し、近畿・中 国・四国・ 九州では 砂壤土を 除く)	3kg/10a	移植後3日 ～10日(ビ エの1.5葉 期まで)	湛水 散布	本剤の使用回 数...1回、ジメタ メリンを含む農 薬の総使用回数...2 回以内、プレチ クロールを含む農 薬の総使用回 数...2回以内	住化武田 農薬㈱
						関東以西の 普通期及び 早期栽培地 帯	砂壤土を 除く)	3kg/10a	移植後3日 ～7日(ビエ の1.5葉期 まで)			
オキサジ クロメホ ン・クロ メ ブロッ プ・シハ ロホッ プ ブチ ル・ペン ス ル ブ ロ ン メ チ ル 粒 剤	カルテッ ト 1キ ロ 粒 剤 51	(RS)-2-(2,4-ジクロロ- m-トリオキシ)プロピオン アニリド...3.5%, メチル α -(4,6-ジメチルピリ ジン-2-イル)カルバモイル スルファミド...0.51%, ブチ ル=[R]-2-[4-(4-シア ノ-2-フルオロフェニル)フェ ニル]プロピオナート... 1.5%, 3-[1-(3,5-ジクロ ロフェニル)-1-メチルエチ ル]-3,4-ジヒドロ-6-メチ ル-5-フェニル-2H-1,3- オキサジン-4-オン... 0.60%	粒 剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガ ヤツリ、ヒルムシロ、セリ(北陸 を除く)、アオミドロ・藻類に よる表層はく離	北陸、関東・ 東山・東海、 近畿・中国・ 四国の普通 期及び早期 栽培地帯	埴土～埴 土	1kg/10a	移植後5日 ～20日(ビ エ3葉期ま で)	湛水 散布	本剤の使用回 数...1回、オキサ ジクロメホ ンを含む農 薬の総使用回 数...2回以内、ク ロメブロッ プを含む農 薬の総使用回 数...2回以内、シ ハロホップ ブチルを含む農 薬の総使用回 数...3回以 内、ペンシル ブロンメチ ルを含む農 薬の総使用回 数...2回以内	北興化学 工業㈱

(1) 水稻つづき

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名	適用雑草	適用地域	適用土壌	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	登録会社
シハロホップ・ブチル・デニル・クロール・ペンシル・フロノメチル・粒剤	ビシント粒剤17	2-クロロ-N-(3-メトキシ-2-テニル)-2',6'-ジメチルアセトアニリド...0.70%, メチル=α-(4,6-ジメチルシロキシ)-2-イルカルバモイルスルファモイル-オートルート...0.17%, プチル=(R)-2-[4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ]プロピオナート...0.60%	粒剤	移植水稻	水田一年生雑草、マツバ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ、アオミドロ・藻類による表層はく離(関東・東山・東海)	北陸・関東・東山・東海の普通期及び早期栽培地帯	壇土～壇土	3kg/10a	移植後5～20日(ビエ3葉期まで)	湛水散布	本剤の使用回数...1回、シハロホップ・ブチルを含む農薬の総使用回数...3回以内、デニル・クロールを含む農薬の総使用回数...2回以内、ペンシル・フロノメチルを含む農薬の総使用回数...2回以内	日本農薬株式会社、北興化学工業株式会社
						近畿・中国・四国の早期栽培地帯		3kg/10a				
						近畿・中国・四国の普通期栽培地帯	砂壇土～壇土	3kg/10a				
						九州の普通期栽培地帯		3kg/10a	移植後5～17日(ビエ3葉期まで)			
イマノ・スルフロ・カフエンス・トロール・ダイムロ・ベンゾ・ビシクロ・水和剤	テッテイロアブル	1-(2-クロロミタゲ[1,2-a]ピリジン-3-イル)スルホニル-3-(4,6-ジメチルシロキシ)-2-イル)尿素...1.7%, 1-(α, α-ジメチルベンジル)-3-(バトリル)尿素...7.6%, N,N-ジエチル-3-メチルスルホニル-1H-1,2,4-トリアゾール-1-カルボキサミド...4.0%, 3-(2-クロロ-4-メチルベンジル)-2-フェニルチオビシクロ[3.2.1]オクタ-2-エン-4-オン...3.8%	水和剤	移植水稻	水田一年生雑草、マツバ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ、クログワイ(近畿・中国・四国、九州)、アオミドロ・藻類による表層はく離(九州を除く)	北陸・関東以西の普通期及び早期栽培地帯	砂壇土～壇土	500ml/10a	移植後3日～12日(ビエ2葉期まで)	原液湛水散布	本剤の使用回数...1回、イマノ・スルフロを含む農薬の総使用回数...2回以内、カフエンス・トロールを含む農薬の総使用回数...1回、ダイムロを含む農薬の総使用回数...3回以内(育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)、ベンゾ・ビシクロを含む農薬の総使用回数...2回以内	関エス・ディー・エス・バイオテック
オキサジクロメホン・ペンシル・フロノメチル・ベンゾ・ビシクロ・粒剤	プラスワン1キロ粒剤75	メチル=α-(4,6-ジメチルシロキシ)-2-イルカルバモイルスルファモイル-オートルート...0.75%, 3-[1-(3,5-ジクロロフェニル)-1-メチルエチル]-3,4-ジヒドロ-6-メチル-5-フェニル-2H-1,3-オキサジン-4-オン...0.80%, 3-(2-クロロ-4-メチルベンジル)-2-フェニルチオビシクロ[3.2.1]オクタ-2-エン-4-オン...2.0%	粒剤	移植水稻	水田一年生雑草、マツバ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ、アオミドロ・藻類による表層はく離	東北	壇土～壇土	1kg/10a	移植後5日～15日(ビエ2.5葉期まで)	湛水散布	本剤の使用回数...1回、オキサジクロメホンを含む農薬の総使用回数...2回以内、ペンシル・フロノメチルを含む農薬の総使用回数...2回以内、ベンゾ・ビシクロを含む農薬の総使用回数...2回以内	北興化学工業株式会社、デューボン株式会社
オキサジクロメホン・ホームラン・キングL・ジャンボ・プロモブチド・ペンシル・フロノメチル・粒剤	ホクローホームランキングLジャンボ、ゴウワンLジャンボ	(RS)-2-(2,4-ジクロロ-6-トリフルオロメチル)-2-イル)プロピオナート...6.0%, (RS)-2-プロモ-N-(α, α-ジメチルベンジル)-3,3-ジメチルプロピルアミド...12.0%, メチル=α-(4,6-ジメチルシロキシ)-2-イルカルバモイルスルファモイル-オートルート...1.02%, 3-[1-(3,5-ジクロロフェニル)-1-メチルエチル]-3,4-ジヒドロ-6-メチル-5-フェニル-2H-1,3-オキサジン-4-オン...1.2%	粒剤	移植水稻	水田一年生雑草、マツバ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ、アオミドロ・藻類による表層はく離(北陸・近畿・中国・四国、九州)	北陸	砂壇土～壇土	小包装(パック)10個(500g)/10a	移植後1日～12日(ビエ2葉期まで)	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	本剤の使用回数...1回、オキサジクロメホンを含む農薬の総使用回数...2回以内、クロメブチドを含む農薬の総使用回数...2回以内、プロモブチドを含む農薬の総使用回数...2回以内、ペンシル・フロノメチルを含む農薬の総使用回数...2回以内	北興化学工業株式会社、デューボン株式会社、北興産業株式会社
						関東・東山・東海、九州の普通期及び早期栽培地帯	壇土～壇土	小包装(パック)10個(500g)/10a				
						近畿・中国・四国の普通期栽培地帯	砂壇土～壇土	小包装(パック)10個(500g)/10a	移植後1日～12日(但し、砂壇土では移植後3日～12日)(ビエ2葉期まで)			

(1) 水稻つづき

種類名	商品名	有効成分の種類 および含有量	剤 型	適用作 物名	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用量	使用時期	使用 方法	使用回数	登録会社
カフエンス トローレ・ ダイムロ ン・ペン スルフロ ンメチ ル粒剤	クサトリ エース粒 剤17	1-(α , α -ジメチルベン ジル)-3-(β -ナトリル)尿 素...2.0%、メチル= α - (4,6-ジメチルキシン) 2-イルカルバモイルスル フアモイル)- α -トル アート... 0.17%、N,N-ジエチル 3-メチルスルホニル-1H- 1,2,4-トリアゾール-1-カ ルボキサミド...1.0%	粒 剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガ ヤツリ、ヒルムシロ(関東・東 山・東海の普通期)、ヘラ オモタガ(北陸)、セリ、アミ ドロ・藻類による表層はく 離	北陸、関東・ 東山・東海 の早期及び 普通期栽培 地帯	砂壤土～ 埴土	3kg/10a	移植後5～ 15日(ノビ エ2.5葉期ま で)	湛水 散布	本剤の使用回 数...1回、カフ エンストロー ルを含む農薬 の総使用回数 ...1回、ダイ ムロンを含む農 薬の総使用回数 ...3回以内(育苗 箱散布は1回以 内、本田では2 回以内)、ペン スルフロメチ ルを含む農薬 の総使用回数 ...2回以内	三共アグ ロ
					水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガ ヤツリ、ヒルムシロ、セリ(九州 の普通期を除く)、アミ ドロ・藻類による表層はく 離	近畿・中国・ 四国の早期 及び普通期 栽培地帯	埴土～埴 土	3kg/10a				
						九州の早期 及び普通期 栽培地帯	砂壤土～ 埴土	3kg/10a				
オキサジ クロメホ ン・ジメ タート リン・ピ ラノスル フロネチ ル・ペン ゾビシク ロン粒 剤	シリウス ターボジ ヤンボ	2-メチルチオ-4-エチルア ミノ-6-(1,2-ジメチルプロ ピルアミノ)-s-トリ アジ...2.0%、エチル=5- (4,6-ジメチルキシン) 2-イルカルバモイルスル フアモイル)-1-メチル ピラゾール-4-カルボ キシアミド... 1.0%、3-[1-(3,5-ジ クロフェニル)-1-メチル エチル]-3,4-ジヒ ドロ-6-メチル-5- フェニル-2H-1,3- オキサジシン-4-オン... 2.7%、3-(2-クロロ-4- メチルペンゾイル)-2- フェニルチオビシク ロ[3.2.1]オク タ-2-エン-4-オン... 6.7%	粒 剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガ ヤツリ、ヘラオモタガ(東北)、 ヒルムシロ、セリ、アミ ドロ・藻類による表層はく 離	東北、関東・ 東山・東海 の普通期栽 培地帯	埴土～埴 土	小包装 (パック)10 個 300g/10 a	移植後5日 ～15日(ノ ビエ2.5葉期 まで)	水田 に小 包装 (パック) のまま 投げ 入れ る。	本剤の使用回 数...1回、オキサ ジクロメホン を含む農薬 の総使用回 数...2回以内、 ジメタート リンを含む 農薬の総使 用回数...2回 以内、ピラ ノスルフロ ネチルを含む 農薬の総使 用回数...1 回、ペンゾ ビシクロン を含む農薬 の総使用回 数...2回以 内	日産化学 工業㈱
オキサジ クロメホ ン・ピラ ノスルフ ロンエチ ル・ペン ゾビシク ロン粒 剤	シリウス いぶき1キ ロ粒剤	エチル=5-(4,6-ジメチル キシン)-2-イルカルバ モイルスルフアモイル)-1-メ チルピラゾール-4-カルボ キシアミド...0.30%、3- [1-(3,5-ジクロフェ ニル)-1-メチルエチル]-3,4- ジヒドロ-6-メチル-5- フェニル-2H-1,3- オキサジシン-4-オン...0.80%、3- (2-クロロ-4-メチル ペンゾイル)-2- フェニルチオビシク ロ[3.2.1]オク タ-2-エン-4- オン...2.0%	粒 剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガ ヤツリ、ヘラオモタガ、ヒルム シロ、セリ、アミ ドロ・藻類に よる表層はく 離	東北	埴土～埴 土	1kg/10a	移植後3～ 15日(ノビ エ2.5葉期ま で)	湛水 散布	本剤の使用回 数...1回、オキサ ジクロメホン を含む農薬 の総使用回 数...2回以内、 ピラノスル フロネチル を含む農薬 の総使用回 数...1回、 ペンゾビシ クロンを含 む農薬の総 使用回数... 2回以内	日産化学 工業㈱
オキサジ クロメホ ン・ピラ ノスルフ ロンエチ ル・ペン ゾビシク ロン粒 剤	シリウス いぶきジ ヤンボ	エチル=5-(4,6-ジメチル キシン)-2-イルカルバ モイルスルフアモイル)-1-メ チルピラゾール-4-カルボ キシアミド...0.30%、3- [1-(3,5-ジクロフェ ニル)-1-メチルエチル]-3,4- ジヒドロ-6-メチル-5- フェニル-2H-1,3- オキサジシン-4-オン...2.0%、3- (2-クロロ-4-メチル ペンゾイル)-2- フェニルチオビシク ロ[3.2.1]オク タ-2-エン-4- オン...6.7%	粒 剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガ ヤツリ、ヘラオモタガ、ヒルム シロ、セリ、アミ ドロ・藻類に よる表層はく 離	東北	埴土～埴 土	小包装 (パック)10 個 300g/10 a	移植後3日 ～15日(ノ ビエ2.5葉期 まで)	水田 に小 包装 (パック) のまま 投げ 入れ る。	本剤の使用回 数...1回、オキサ ジクロメホン を含む農薬 の総使用回 数...2回以内、 ピラノスル フロネチル を含む農薬 の総使用回 数...1回、 ペンゾビシ クロンを含 む農薬の総 使用回数... 2回以内	日産化学 工業㈱

(1) 水稲つづき

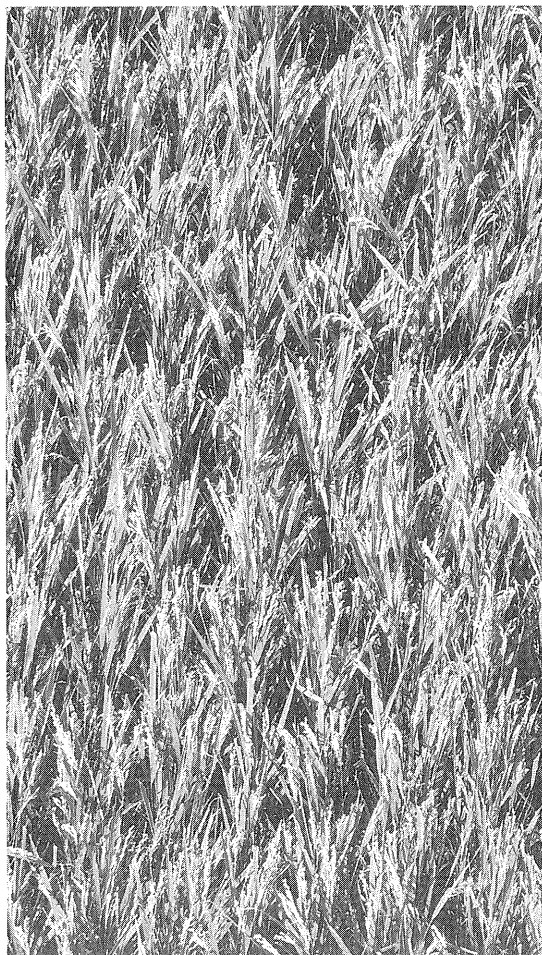
種類名	商品名	有効成分の種類 および含有量	剤 型	適用作 物名	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用量	使用時期	使用 方法	使用回数	登録会社
オキサジ クロメホ ン・ピラゾ スルフロ ンエチル ベンゾビ シクロン水 和剤	シリウスい ぶき顆粒	エチル=5-(4,6-ジメチルベン ジリジン-2-イルカルバモ イルスルファモイル)-1-メチ ルピラゾール-4-カルボキ シレート...3.5%, 3-[1- (3,5-ジクロロフェニル)-1- メチルエチル]-3,4-ジヒド ロ-6-メチル-5-フェニル 2H-1,3-オキサジン-4- オン...10.0%, 3-(2-ク ロロ-4-メチルベンゾイ ル)-2-フェニルチオビシ クロ[3.2.1]オクタ-2-エン-4- オン...33.0%	水 和 剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガ ヤツリ、ヘオモダカ、ヒルムシ ロ、セリ、アオミドロ・藻類に よる表層はく離	東北	壤土～塩 土	60g/10a	移植後3～ 15日(ノビエ 2.5葉期ま で)	湛水 散布	本剤の使用回 数...1回、オキサ ジクロメホンを含む 農薬の総使用回 数...2回以内、ピ ラゾスルフロネ チルを含む農薬の 総使用回数...1 回、ベンゾビシクロ ンを含む農薬の総 使用回数...2回 以内	日産化学 工業㈱
カフエンス トロール・ ダイムロ ン・ペン スルフロ ンメチル ベン ゾビシクロ ン粒剤	シロノック 1キロ粒剤 51	1-(α , α -ジメチルベン ジリジン-3-(パラトリル)尿 素...6.0%, メチル= α - (4,6-ジメチルベンジリジン- 2-イルカルバモイルスル ファモイル)-オトルアト... 0.51%, N,N-ジエチル- 3-メチルスルホニル-1H- 1,2,4-トリアゾール-1-カ ルボキサミド...3.0%, 3- (2-クロロ-4-メチルベンゾ イル)-2-フェニルチオビシ クロ[3.2.1]オクタ-2-エン- 4-オン...2.0%	粒 剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、ミズガヤツリ、ウ リカワ、ヒルムシロ、セリ、アオミ ドロ・藻類による表層はく 離	北陸、関東 以西の普通 期及び早期 栽培地帯	砂壤土～ 塩土	1kg/10a	移植後3～ 15日(ノビエ 2.5葉期ま で)	湛水 散布	本剤の使用回 数...1回、カフエ ンストロールを含 む農薬の総使用 回数...1回、ダイ ムロンを含む農薬 の総使用回数...3 回以内(育苗箱散 布は1回以内、本 田では2回以内)、 ペンスルフロネ チルを含む農薬の 総使用回数...2 回以内、ベンゾビ シクロンを含む農 薬の総使用回 数...2回以内	三共アグロ ㈱、デュボ ン㈱、㈱エ ス・ディー・エ ス・バイオテッ ク
カフエンス トロール・ ダイムロ ン・ペン スルフロ ンメチル ベン ゾビシクロ ン粒剤	シロノック 1キロ粒剤 75	1-(α , α -ジメチルベン ジリジン-3-(パラトリル)尿 素...6.0%, メチル= α - (4,6-ジメチルベンジリジン- 2-イルカルバモイルスル ファモイル)-オトルアト... 0.75%, N,N-ジエチル- 3-メチルスルホニル-1H- 1,2,4-トリアゾール-1-カ ルボキサミド...3.0%, 3- (2-クロロ-4-メチルベンゾ イル)-2-フェニルチオビシ クロ[3.2.1]オクタ-2-エン- 4-オン...2.0%	粒 剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、ヘオモダカ、ミ ズガヤツリ(東北)、ウリカワ、 ヒルムシロ、セリ、アオミドロ・藻 類による表層はく離	北海道	砂壤土～ 塩土	1kg/10a	移植後3～ 20日(ノビエ 2.5葉期ま で)	湛水 散布	本剤の使用回 数...1回、カフエ ンストロールを含 む農薬の総使用 回数...1回、ダイ ムロンを含む農薬 の総使用回数...3 回以内(育苗箱散 布は1回以内、本 田では2回以内)、 ペンスルフロネ チルを含む農薬の 総使用回数...2 回以内、ベンゾビ シクロンを含む農 薬の総使用回 数...2回以内	三共アグロ ㈱、デュボ ン㈱、㈱エ ス・ディー・エ ス・バイオテッ ク
カフエンス トロール・ ダイムロ ン・ペン スルフロ ンメチル ベン ゾビシクロ ン粒剤	三共シロ ノックH ジャンボ	1-(α , α -ジメチルベン ジリジン-3-(パラトリル)尿 素...14.3%, メチル= α - (4,6-ジメチルベンジリジン- 2-イルカルバモイルスル ファモイル)-オトルアト... 2.1%, N,N-ジエチル- 3-メチルスルホニル-1H- 1,2,4-トリアゾール-1-カ ルボキサミド... 7.1%, 3-(2-クロロ-4-メ チルベンゾイル)-2-フェ ニルチオビシクロ[3.2.1]オ クタ-2-エン-4-オン... 5.7%	粒 剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツバ イ、ホタルイ、ヘオモダカ、ミ ズガヤツリ(東北)、ウリカワ、 ヒルムシロ、セリ、アオミドロ・藻 類による表層はく離	北海道	壤土～塩 土	小包装 (パック)10 個 (350g)/1 0a	移植後3～ 20日(ノビエ 2.5葉期ま で)	水田 に小 包装 (パック) のまま 投げ 入れ る。	本剤の使用回 数...1回、カフエ ンストロールを含 む農薬の総使用 回数...1回、ダイ ムロンを含む農薬 の総使用回数...3 回以内(育苗箱散 布は1回以内、本 田では2回以内)、 ペンスルフロネ チルを含む農薬の 総使用回数...2 回以内、ベンゾビ シクロンを含む農 薬の総使用回 数...2回以内	三共アグロ ㈱、デュボ ン㈱、㈱エ ス・ディー・エ ス・バイオテッ ク
						東北		小包装 (パック)10 個 (350g)/1 0a	移植後3～ 15日(ノビエ 2.5葉期ま で)			

(1) 水稻つづき

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	登録会社
シメトリン・モリネート・MCPB 粒剤	協友マメツトSM粒剤	2-メチルチオ-4,6-ビス(エチルアミノ)-s-トリアジン...1.5%, S-エチルヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カーボチオエート...8.0%, 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル...0.80%	粒剤	直播水稲	水田一年生雑草、マツバ	関東以西	壤土～壇土	3～4kg/10a	乾田直播の入水後7日～(ビエ3.5葉期まで(但し収穫90日前まで))	湛水散布	本剤の使用回数...1回、シメトリンを含む農薬の総使用回数...2回以内、モリネートを含む農薬の総使用回数...2回以内、MCPBを含む農薬の総使用回数...2回以内	協友アグリ(株)
				普通移植水稲	水田一年生雑草、マツバ、ウリカワ、ホタルイ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ	北海道	砂壤土～壇土	3～4kg/10a	移植後15～20日(ビエ2.5葉期まで)			
						全域(北海道を除く)の普通期及び早期栽培地帯		3～4kg/10a	移植後10～20日(ビエ3.5葉期まで)			
						北海道		3～4kg/10a	移植後20～30日(ビエ3.5葉期まで)(移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用)			
				育苗移植水稲	水田一年生雑草、マツバ、ウリカワ、ホタルイ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ	関東以西の普通期及び早期栽培地帯		3～4kg/10a	移植後15～20日(ビエ3.5葉期まで)			
						関東・東山・東海の普通期及び早期栽培地帯		3～4kg/10a				
					水田一年生雑草、マツバ、オモダカ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ、アオシロ・藻類による表層はく離	北海道		3～4kg/10a	移植後20～30日(ビエ2.5葉期まで)(移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用)			
						全域(北海道を除く)の普通期及び早期栽培地帯		3～4kg/10a	移植後20～30日(ビエ3.5葉期まで)(移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用)			
						関東・東山・東海の普通期及び早期栽培地帯		3～4kg/10a				
					クログワイ	東北、北陸、関東・東山・東海の普通期栽培地帯		3～4kg/10a				

(1) 水稲つづき

種類名	商品名	有効成分の種類 および含有量	剤 型	適用作 物名	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用量	使用時期	使用 方法	使用回数	登録会社
ダイムロ ン・フェン トラザミド・ プロモブ チド・ベン スルフロ ンメチル粒 剤	バイエルラ イジング1 キロ粒剤7 5	1-(α , α -ジメチルベン ジル)-3-(パラトリル)尿 素...4.5%, (RS)-2-ブ ロモ-N-(α , α -ジメチル ベンジル)-3,3-ジメチル ブチルアミド...9.0%, メチ ル= α -(4,6-ジメチルピ リミジン-2-イルカルバモイ ルスルファモイル)-オートル アート...0.75%, 4-(2-ク ロロフェニル)-N-シクロヘキ シル-N-エチル-4,5-ジヒ ドロ-5-オキソ-1H-テトラ ゾール-1-カルボキサミ ド...3.0%	粒剤	移植水 稲	水田一年生雑草、マツハ イ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ミ ズガヤツリ(東北)、ウリカワ、 ヒルムシロ、セリ、アオミドロ・藻 類による表層はく離	北海道	壤土～埴 土	1kg/10a	移植直後 ～移植後 20日(ノビエ 2.5葉期ま で)	湛水 散布	本剤の使用回 数...1回、ダイム ロンを含む農薬の 総使用回数...3 回以内(育苗箱散 布は1回以内、本 田では2回以内)、 フェントラザミドを 含む農薬の総使 用回数...1回、ブ ロモブチドを含む 農薬の総使用回 数...2回以内、ベ ンスルフロ ンメチルを含む農薬の 総使用回数...2 回以内	バイエルク ロップサイエ ンス㈱
						東北	砂壤土～ 埴土	1kg/10a	移植直後 ～移植後 15日(ノビエ 2.5葉期ま で)			



(2) 水田耕起前・水田畦畔・休耕田・水稻刈跡・畑作・野菜作・永年作物・緑地管理対象

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名(適用場所)	適用雑草・使用目的	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	会社名	
イソウロン・DBN粒剤	ネコソギA粒剤	3-(5-ターシャリーフチル-3-イソオキサゾリル)-1,1-ジメチル尿素・・・1.0%、2,6-ジクロロベンゾニトリル・・・2.0%	粒剤	樹木等	一年生雑草	10～15g/㎡	雑草発生前～生育初期(草丈20cm以下)	植栽地を除く樹木の周辺地に全面土壌散布	本剤の使用回数・・・3回以内、イソウロンを含む農薬の総使用回数・・・3回以内、DBNを含む農薬の総使用回数・・・3回以内	レインボー薬品株	
						15～30g/㎡	雑草生育期				
					多年生広葉雑草、スギナ	15～30g/㎡	雑草発生前～生育期				
トリフルラリン乳剤	STトレファノサイド乳剤	α, α, α-トリフルオロ-2,6-ジニトロ-N,N-ジプロピル-パラ-トルイジン・・・44.5%	乳剤	ぶどう、もも、なし	畑地一年生雑草(ツユクサ、カヤツクサ、キク・アブラナ科を除く)	300～400ml/10a、希釈水量100L/10a	春～秋期雑草発生前 但し、収穫30日前まで	土壌表面散布	本剤の使用回数・・・2回以内、トリフルラリンを含む農薬の総使用回数・・・2回以内	住化武田農薬株	
						りんご	300～400ml/10a、希釈水量100L/10a	春期雑草発生前 但し、収穫150日前まで	本剤の使用回数・・・1回、トリフルラリンを含む農薬の総使用回数・・・1回		
						キャベツ(直播栽培)	200～300ml/10a、希釈水量100L/10a	は種直後			
						キャベツ(移植栽培)	200～300ml/10a、希釈水量100L/10a	定植前(植穴掘前)			
							200～300ml/10a、希釈水量100L/10a	定植直後			畦間土壌表面散布
						はくさい(直播栽培)	200～300ml/10a、希釈水量100L/10a	は種直後			土壌表面散布
						はくさい(移植栽培)	200～300ml/10a、希釈水量100L/10a	定植前(植穴掘前)			
	200～300ml/10a、希釈水量100L/10a	定植直後	畦間土壌表面散布								

(2) 水田耕起前・水田畦畔・休耕田・水稲刈跡・畑作・野菜作・永年作物・緑地管理対象つづき

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名(適用場所)	適用雑草・使用目的	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	会社名
トリフルラリン乳剤つづき	STトレファノサイド乳剤	α, α, α -トリフルオロ-2,6-ジニトロ-N,N-ジプロピル-パラ-トルイジン... 44.5%	乳剤	なたね	畑地一年生雑草(ツユクサ、カタツムサ、キク・アブラナ科を除く)	200～300ml/10a、希釈水量 100L/10a	は種直後	土壌表面散布	本剤の使用回数...1回、トリフルラリンを含む農薬の総使用回数...1回	住化武田農業(株)
				レタス(露地栽培)、非結球レタス(露地栽培)	200～300ml/10a、希釈水量 100L/10a	定植前(植穴掘前)				
					200～300ml/10a、希釈水量 100L/10a	定植直後	畦間土壌表面散布			
				ねぎ、わけぎ	200～300ml/10a、希釈水量 100L/10a		土壌表面散布			
				トマト(露地栽培)、ミニトマト(露地栽培)、ピーマン(露地栽培)、とうがらし類(露地栽培)	200～300ml/10a、希釈水量 100L/10a	定植前(植穴掘前)				
					200～300ml/10a、希釈水量 100L/10a	定植直後	畦間土壌表面散布			
				らっきょう(露地栽培)		200～300ml/10a、希釈水量 100L/10a	植付後、春期雑草発生前 但し、収穫120日前まで	土壌表面散布	本剤の使用回数...2回以内、トリフルラリンを含む農薬の総使用回数...2回以内	
				すいか(トンネル・マルチ栽培)		200～300ml/10a、希釈水量 100L/10a	定植前(植穴掘前)(マルチ前)			
						200～300ml/10a、希釈水量 100L/10a	収穫45日前までの生育期(トンネル除去前)	畦間土壌表面散布		
				すいか(露地栽培)		200～300ml/10a、希釈水量 100L/10a	定植キャップ後 但し、収穫45日前まで	土壌表面散布		

(2) 水田耕起前・水田畦畔・休耕田・水稻刈跡・畑作・野菜作・永年作物・緑地管理対象つづき

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名 (適用場所)	適用雑草・使用 目的	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	会社名
トリフル ラリン 乳剤つ づき	STトレ ファノサ イド乳剤	α, α, α -トリフルオロ- 2,6-ジニトロ-N,N-ジプロ ピル-パラ-トルイジン... 44.5%	乳 剤	メロン(露地栽培 (トンネル・マル チ栽培))	畑地一年生雑 草(ツユクサ、カヤツ グサ、キク・アブラナ 科を除く)	150～ 200ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	定植前(植穴 掘前)(マルチ 前)	土壌表面 散布	本剤の使用回数...2 回以内、トリフルラリン を含む農薬の総使用 回数...2回以内	住化武田農薬 (株)
					200～ 300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	収穫45日前 までの生育 期(トンネル除 去前)	畦間土壌 表面散布			
				しろり(露 地栽培)		150～ 200ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	定植前(植穴 掘前)	土壌表面 散布	本剤の使用回数...1 回、トリフルラリンを含 む農薬の総使用回 数...1回	
				きゅうり(露 地栽培(直 播栽培))		200～ 250ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	は種直後			
				きゅうり(露 地栽培(移 植栽培))		200～ 250ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	定植前(植穴 掘前)			
						200～ 250ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	定植直後	畦間土壌 表面散布		
				なす(露地 栽培)		200～ 300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	定植前(植穴 掘前)	土壌表面 散布		
				実えんどう (露地栽 培)、さやえ んどう(露地 栽培)		300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	は種直後			
				さやいんげ ん(露地栽 培)		200～ 300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a				
				さやいんげ ん(露地・マル チ栽培)		200～ 300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	は種前(マルチ 前)			

(2) 水田耕起前・水田畦畔・休耕田・水稲刈跡・畑作・野菜作・永年作物・緑地管理対象つづき

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名 (適用場所)	適用雑草・使用 目的	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	会社名	
トリフル ラリン 乳剤つ づき	STトレ ファノサ イド乳剤	α, α, α -トリフルオロ- 2,6-ジニトロ-N,N-ジプロ ピル-パラートルイジン... 44.5%	乳 剤	だいこん(露 地栽培)、は つかだいこ ん(露地栽 培)	畑地一年生雑 草(ツユクサ、カヤツ クサ、キク・アブラナ 科を除く)	150～ 200ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	は種直後	土壌表面 散布	本剤の使用回数...1 回、トリフルラリンを含 む農薬の総使用回 数...1回	住化武田農薬 ㈱	
				にんじん、 ごぼう(露地 栽培)、葉ご ぼう(露地栽 培)		200～ 300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a					
				しょうが		200～ 300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a					
				たまねぎ(本 畑)		200～ 300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	定植後 但 し、収穫75日 前まで				本剤の使用回数...2 回以内、トリフルラリン を含む農薬の総使用 回数...2回以内
				アスパラガス		200～ 300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	萌芽前、収穫 打切後(雑草 発生前)				本剤の使用回数...1 回、トリフルラリンを含 む農薬の総使用回 数...1回
				かんしよ		200～ 300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	植付直後				
				さといも		300～ 400ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	植付後(マルチ 前) 但し、植 付7日後まで				
				やまのい も、やまの いも(むかご)		200～ 300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	植付直後				生育初期 但 し、植付30日 後まで
				だいず、え だまめ		200～ 300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	は種直後				

(2) 水田耕起前・水田畦畔・休耕田・水稲刈跡・畑作・野菜作・永年作物・緑地管理対象つづき

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名(適用場所)	適用雑草・使用目的	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	会社名
トリフルラリン乳剤つづき	STトレファノサイド乳剤	α, α, α -トリフルオロ-2,6-ジニトロ-N,N-ジプロビル-パラ-トルイジン... 44.5%	乳剤	らっかせい	畑地一年生雑草(ツユクサ、カヤツクサ、キク・アブラナ科を除く)	200～300ml/10a、希釈水量100L/10a	は種直後	土壌表面散布	本剤の使用回数…1回、トリフルラリンを含む農薬の総使用回数…1回	住化武田農薬(株)
				なばな(移植栽培)		200ml/10a、希釈水量100L/10a	定植直後	畦間土壌表面散布		
				なばな類(直播栽培)、非結球あぶらな科葉菜類		150～200ml/10a、希釈水量100L/10a	は種直後	土壌表面散布		
				かぶ		150ml/10a、希釈水量100L/10a				
				食用べにばな(花)		300ml/10a、希釈水量100L/10a				
				みつば、べにばないんげん		300ml/10a、希釈水量100L/10a	は種後発芽前			
				ひまわり(種子)		200～300ml/10a、希釈水量100L/10a				
				葉しょうが		200～300ml/10a、希釈水量100L/10a	植付直後			
				はなっこりー(移植栽培)		200～300ml/10a、希釈水量100L/10a	定植前(植穴掘前)			
	200～300ml/10a、希釈水量100L/10a	定植後 但し、収穫21日前まで	畦間土壌表面散布							

(2) 水田耕起前・水田畦畔・休耕田・水稲刈跡・畑作・野菜作・永年作物・緑地管理対象つづき

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名 (適用場所)	適用雑草・使用 目的	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	会社名
トリフル ラリン 乳剤つ づき	STトレ ファノサ イド乳剤	α, α, α -トリフルオロ- 2,6-ジニトロ-N,N-ジ'プロ ピル-パラ-トルイジン... 44.5%	乳 剤	まくわうり(露 地栽培(トン ネル・マルチ栽 培))	畑地一年生雑 草(ツユクサ、カヤツ クサ、キク・アブラナ 科を除く)	200～ 300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	定植前(植穴 掘前)(マルチ 前)	土壌表面 散布	本剤の使用回数...1 回、トリフルラリンを含 む農薬の総使用回 数...2回以内(定植前 は1回以内、生育期は 1回以内)	住化武田農薬 (株)
						200～ 300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	収穫45日前 までの生育 期(トンネル除 去前)	畦間土壌 表面散布		
				こんにゃく		200～ 300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	植付直後、中 耕培土直後 (萌芽前)	土壌表面 散布	本剤の使用回数...2 回以内、トリフルラリン を含む農薬の総使用 回数...2回以内	
				桑(苗床)		200～ 300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	は種後、伏込 後(挿木)			
								桑(本畑)		
				ゆり、チューリッ プ、しゃくや く		200～ 300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	植付後～萌 芽前			
								きく(露地栽 培)		
				たばこ		200～ 250ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	大土寄直後			
								樹木類		

(2) 水田耕起前・水田畦畔・休耕田・水稲刈跡・畑作・野菜作・永年作物・緑地管理対象につき

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名(適用場所)	適用雑草・使用目的	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	会社名
トリフル ラリン 乳剤つ づき	STトレ ファノサ イド乳剤	α, α, α -トリフルオロ- 2,6-ジ'ニトロ-N,N-シ'プロ ビル-パラ-トルイジン... 44.5%	乳 剤	林木苗(す ぎ・ひのき・ あかまつ・か らまつ(播種 床))	畑地一年生雑 草(ツユクサ、カヤツ グサ、キク・アブラナ 科を除く)	300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	は種後～生 育中	土壌表面 散布	本剤の使用回数...2 回以内、トリフルラリン を含む農薬の総使用 回数...2回以内	住化武田農薬 株
				林木苗(す ぎ・ひのき・ あかまつ・か らまつ(床替 床))		300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	床替後～生 育中			
				直播水稲	ノビエ	300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	乾田直播の は種後発芽 前(ノビエ発生 前)	乾田状態 で土壌表 面散布	本剤の使用回数...1 回、トリフルラリンを含 む農薬の総使用回 数...1回	
				麦類	畑地一年生雑 草(ツユクサ、カヤツ グサ、キク・アブラナ 科を除く)	200～ 300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	は種後発芽 前	土壌表面 散布	本剤の使用回数...2 回以内、トリフルラリン を含む農薬の総使用 回数...2回以内	
				あずき		200～ 300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a				
				にんにく		300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a				
						300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	植付前(マルチ 前)	本剤の使用回数...1 回、トリフルラリンを含 む農薬の総使用回 数...2回以内		
				いんげんま め	畑地一年生イネ 科雑草	200～ 300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	は種後6日～ 発芽2日前ま で		本剤の使用回数...1 回、トリフルラリンを含 む農薬の総使用回 数...1回	
				ブロッコリー	畑地一年生雑 草(ツユクサ、カヤツ グサ、キク・アブラナ 科を除く)	200～ 300ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	定植前(植穴 掘前)			
樹木等	一年生雑草(ツユ クサ、カヤツグサ、キ ク・アブラナ科を除 く)	300～ 400ml/1 0a、希釈 水量 100L/10 a	雑草発生前	植栽地を 除く樹木等 の周辺地 に全面土 壌散布	本剤の使用回数...3 回以内、トリフルラリン を含む農薬の総使用 回数...3回以内					

(2) 水田耕起前・水田畦畔・休耕田・水稲刈跡・畑作・野菜作・永年作物・緑地管理対象つづき

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名(適用場所)	適用雑草・使用目的	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	会社名
プロマシル粉粒剤	快速除草、オールキラースピードX微粒剤	5-プロモ-3-セコンタリーブチル-6-メチルウラシル...1.0%	粉粒剤	樹木等	一年生雑草及び多年生広葉雑草	15～30g/m ²	雑草生育初期(草丈20cm以下)	植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壌散布又は雑草茎葉散布	本剤の使用回数...2回以内、プロマシルを含む農薬の総使用回数...2回以内	丸和ハイオケミカル(株)、ファミラー(株)
グリホサートイソプロピルアミン塩液剤	グリホキシングシャワー	イソプロピルアンモニウムN-(ホスホノメチル)グリシナート...1.0%	液剤	樹木等	一年生雑草	25～40・/1m ² (原液散布)	雑草生育期(草丈30cm以下)	植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布	本剤の使用回数...3回以内、グリホサートを含む農薬の総使用回数...3回以内	㈱シンスイ
イソウロン・DBN粒剤	キレイジャン粒剤	3-(5-ターシャリーブチル-3-イソオキサゾール)-1,1-ジメチル尿素...1.0%、2,6-ジクロロベンゾニトリル...2.0%	粒剤	樹木等	一年生雑草	10～15kg/10a	雑草発生前～生育初期(草丈20cm以下)	植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壌散布	本剤の使用回数...3回以内、イソウロンを含む農薬の総使用回数...3回以内、DBNを含む農薬の総使用回数...3回以内	日本農薬(株)
					一年生雑草	15～30kg/10a	雑草生育期			
					多年生広葉雑草、スキナ	15～30kg/10a	雑草発生前～生育期			
グリホサートカリウム塩液剤	ラウンドアップKロード	カリウムN-(ホスホノメチル)グリシナート...52.0%	液剤	かんきつ、りんご、なし、ぶどう	一年生雑草	250～500ml/10a、通常散布50～100L/10a、少量散布25～50L/10a	雑草生育期但し、収穫7日前まで	雑草茎葉散布	本剤の使用回数...3回以内、グリホサートを含む農薬の総使用回数...3回以内	日産化学工業(株)
					多年生雑草	500～1000ml/10a、通常散布50～100L/10a、少量散布25～50L/10a				
				水田作物(水田畦畔)	一年生及び多年生雑草(スキナを除く)	250～500ml/10a、通常散布50～100L/10a、少量散布25～50L/10a	雑草生育期但し、収穫14日前まで		本剤の使用回数...2回以内、グリホサートを含む農薬の総使用回数...2回以内	

(2) 水田耕起前・水田畦畔・休耕田・水稲刈跡・畑作・野菜作・永年作物・緑地管理対象つづき

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名(適用場所)	適用雑草・使用目的	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	会社名
グリホサート カリウム 塩液剤 つづき	ラウンド アップK ロード	カリウム=N-(ホスホノメチル) グリシナート・・・52.0%	液 剤	水田作物、 畑作物(休 耕田)	一年生及び多 年生雑草(スキナ を除く)	250～ 500ml/1 0a、通常 散布50 ～ 100L/10 a、少量 散布25 ～ 50L/10a	雑草生育期	雑草茎葉 散布	本剤の使用回数・・・2 回以内、グリホサート を含む農薬の総使用 回数・・・2回以内	日産化学工業 (株)
				樹木等	一年生及び多 年生雑草	500～ 1000ml/ 10a、通 常散布 50～ 100L/10 a、少量 散布25 ～ 50L/10a		植栽地を 除く樹木等 の周辺地 に雑草茎 葉散布	本剤の使用回数・・・3 回以内、グリホサート を含む農薬の総使用 回数・・・3回以内	
					スキナ	1500～ 2000ml/ 10a、通 常散布 50～ 100L/10 a、少量 散布25 ～ 50L/10a	生育期			
					クズ等のつる性 多年生雑草、サ サ類	1000～ 2000ml/ 10a、通 常散布 50～ 100L/10 a、少量 散布25 ～ 50L/10a				
グリホ サート カリウム 塩液剤	ラウンド アップ マックス ロード	カリウム=N-(ホスホノメチル) グリシナート・・・48.0%	液 剤	かんきつ、り んご、なし、 ぶどう	一年生雑草	200～ 500ml/1 0a、通常 散布50 ～ 100L/10 a、少量 散布25 ～ 50L/10a	収穫7日前ま で(雑草生育 期)	雑草木茎 葉散布	本剤の使用回数・・・3 回以内、グリホサート を含む農薬の総使用 回数・・・3回以内	
					多年生雑草	500～ 1000ml/ 10a、通 常散布 50～ 100L/10 a、少量 散布25 ～ 50L/10a				

(2) 水田耕起前・水田畦畔・休耕田・水稻刈跡・畑作・野菜作・永年作物・緑地管理対象つづき

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名 (適用場所)	適用雑草・使用 目的	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	会社名		
グリホ サート カリウム 塩液剤 つづき	ラウンド アップ マックス ロード	カリウム=N-(ホスホノメチル) グリシナート・・・48.0%	液 剤	水田作物 (水田畦畔)	一年生雑草及 び多年生雑草	200～ 500ml/1 0a、少量 散布25 ～ 50L/10a	収穫14日前 まで(雑草生 育期)	雑草木茎 葉散布	本剤の使用回数・・・2 回以内、グリホサート を含む農薬の総使用 回数・・・2回以内	日産化学工業 (株)		
					スギナ	1500～ 2000ml/ 10a、通 常散布 50～ 100L/10 a						
				水田作物、 畑作物(休 耕田)	一年生雑草	200～ 500ml/1 0a、少量 散布25 ～ 50L/10a	雑草生育期					
					多年生雑草	500～ 1000ml/ 10a、少 量散布 25～ 50L/10a						
				樹木等	一年生雑草	200～ 500ml/1 0a、通常 散布50 ～ 100L/10 a、少量 散布25 ～ 50L/10a		植栽地を 除く樹木等 の周辺地 に雑草木 茎葉散布			本剤の使用回数・・・3 回以内、グリホサート を含む農薬の総使用 回数・・・3回以内	
					多年生雑草	500～ 1000ml/ 10a、通 常散布 50～ 100L/10 a、少量 散布25 ～ 50L/10a						
				スギナ	1500～ 2000ml/ 10a、通 常散布 50～ 100L/10 a							

(2) 水田耕起前・水田畦畔・休耕田・水稲刈跡・畑作・野菜作・永年作物・緑地管理対象つづき

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名(適用場所)	適用雑草・使用目的	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	会社名
レナシル・PAC水和剤	レナパシク顆粒水和剤	3-シクロヘキシル-5,6-トリメチレンウラシル・・・40.0% 1-フェニル-4-アミノ-5-クロロピリダジン-6・・・30.0%	水和剤	てんさい(移植栽培)	畑地一年生雑草	200～300g/10a、希釈水量50～100L/10a	定植活着後、中耕後(雑草発生始期)但し、収穫60日前まで	雑草茎葉散布又は全面土壌散布	本剤の使用回数・・・2回以内、レナシルを含む農薬の総使用回数・・・2回以内、PACを含む農薬の総使用回数・・・2回以内	北興化学工業(株)、丸和バイオケミカル(株)、BASFアグロ(株)、デュボン(株)
				てんさい(直播栽培)	畑地一年生雑草	200g/10a、希釈水量100L/10a	本葉2葉期			
						200～300g/10a、希釈水量100L/10a	中耕後(雑草発生始期)但し、収穫60日前まで			
				日本芝	一年生雑草	200～300g/10a、希釈水量200～300L/10a	雑草発生前～始期	全面土壌散布		
ベンプレセート水和剤	フルスロット顆粒水和剤	2,3-ジヒドロ-3,3-ジメチルベンゾフラン-5-イル=エタンスルホナート・・・30.0%	水和剤	西洋芝(セントグラス)	スズメノカタビラ	200～300g/10a、希釈水量100～200L/10a	春期芝生育期(雑草発生初期～3葉期)	雑草茎葉散布	本剤の使用回数・・・2回以内、ベンプレセートを含む農薬の総使用回数・・・2回以内	日本曹達(株)
					一年生イネ科雑草	100～200g/10a、希釈水量100～200L/10a	秋期芝生育期(雑草発生初期～3葉期)			
プロマシル粒剤	ウィードキラー粒剤、ネコソギトップX粒剤	5-プロモ-3-セコンダリーフチル-6-メチルウラシル・・・3.0%	粒剤	樹木等	一年生雑草	5～10kg/10a	雑草生育期(草丈30cm以下)	植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壌散布	本剤の使用回数・・・1回、プロマシルを含む農薬の総使用回数・・・1回	関エニカス、レインボー薬品(株)
					多年生雑草	15～25kg/10a	雑草生育初期(草丈20cm以下)			
ジメテナミド乳剤	フィールドスター乳剤	(RS)-2-クロロ-N-(2,4-ジメチル-3-チエニル)-N-(2-メトキシ-1-メチルエチル)アゼアミド・・・79.4%	乳剤	キャベツ	畑地一年生雑草(アカサ科・アブラナ科・タデ科を除く)	75～100ml/10a、希釈水量100L/10a	定植後 雑草発生前(定植後10日まで)	全面土壌散布	本剤の使用回数・・・1回、ジメテナミドを含む農薬の総使用回数・・・1回	BASFジャパン(株)
					だいず、とうもろこし、飼料用とうもろこし	100～150ml/10a、希釈水量100L/10a	は種後発芽前(雑草発生前)			

植調協会だより

◎ 会議開催日程のお知らせ

- ・平成18年度草地飼料作関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会

日時：平成19年1月19日(金) 13:30～16:30

場所：植調会館

〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6

TEL 03-3832-4188 (代)

- ・平成18年度落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会

日時：平成19年1月24日(水) 10:00～17:00

場所：秋葉原UDX(UDXカンファレンス南ウイング6F)

〒101-0021

東京都千代田区外神田4-14-1

秋葉原UDXカンファレンス南ウイング6F

TEL 03-3254-8421 (代)

- ・平成18年度リング関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会

日時：平成19年1月30日(火) 14:30～17:00

31日(水) 9:00～11:30

場所：ホテルメトロポリタン盛岡(本館)

〒020-0034

岩手県盛岡市盛岡駅前通1-44

TEL 019-625-1211 (代)

- ・平成18年度緑地管理関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会

日時：平成19年2月6日(火) 13:00～17:00

7日(水) 9:00～17:00

場所：東京ガーデンパレス

〒113-0034 東京都文京区湯島1-7-5

TEL 03-3813-6211 (代)

編集後記

2006年は輸出関連企業、金融関係をはじめとする大企業はいざなぎ景気とかで日本経済は好景気を続行中と報道されているが、中小企業や一般市民には実感としては全く感じられない。農業にしてみてもしかりで、例えば今年は異常気象の影響か夏は早魃に見舞われ野菜の生育が悪く、野菜の値が異常に上がったと思うと、秋から初冬の暖冬によって値下がりが続き見事なキャベツがトラクターで踏みつ

ぶされている無惨な姿がテレビで放映され、野菜農家は激変におろおろするばかり。これが資本主義の原則といってしまうとそれまでであるが、勝ち組と負け組がこれ程明確な時代も珍しい。この頃は格差の時代といわれ、この格差が増々大きくなりつつある。

2007年は格差解消の一大施策を速やかに実行に移し、平和で豊かな生活が送れる年にしたいと願う年の瀬である。 ㊟

財団法人 日本植物調節剤研究協会

東京都台東区台東1丁目26番6号

電話 (03)3832-4188 (代)

FAX (03)3833-1807

http://www.japr.or.jp/

編集人 日本植物調節剤研究協会 会長 小林 仁

発行人 植調編集印刷事務所 広田 伸七

発行所 東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
植調編集印刷事務所

電話 (03)3833-1821 (代)

FAX (03)3833-1665

E-mail: hon@zennokyo.co.jp

平成18年12月発行 定価525円(本体500円+消費税25円)

植調第40巻第9号

(送料 270円)

印刷所 新成印刷(株)

難防除雑草対策の新製品

イッテリ[®]フロアブル
1kg粒剤 ジャンボ

期待の新製品

SU抵抗性
雑草対応 **ドニチS**[®] 1kg粒剤

ノビエ3葉期
まで使える **アピロイグル**[®]

殺虫成分入り
(スクミリンゴガイ食害防止) **ショウリョク**[®] ジャンボ 2成分の
ジャンボ剤 **ゴヨウダ**[®] ジャンボ

大好評の既存剤

ポーンと手軽に
クラッシュEX[®] ジャンボ

安定した効果の
初中期一発剤 **ドニチ1**[®] 1kg粒剤

草闘力[®] ふろあぶる

キックバイ1[®] 1kg粒剤

アワード[®] フロアブル

ロングット[®] フロアブル

シェリフ1[®] 1kg粒剤

シゼット[®] フロアブル

クラッシュ1[®] 1kg粒剤

バトル[®] 粒剤

スミグレート[®] 粒剤

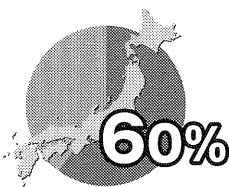
大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCC GROUP

 **住友化学株式会社**
〒104-8260 東京都中央区新川2-27-1

 **住化武田農業株式会社**
〒104-0033 東京都中央区新川1-16-3

 The miracles of science™

ベンスルフロンメチル「**DPX-84**」は、
日本の美味しい米作りと食の安全を支えています。



ベンスルフロンメチルは米国デュポン社が開発した、低薬量かつ
1回の処理で除草ができる自然にやさしい環境負荷低減型除草剤。
様々な有効成分と混合し、使いやすい薬剤として、日本における
水稲面積の約60%※の除草作業をお手伝いしています。

※平成17年度出荷実績

®は米国デュポン社の登録商標です。

目指す未来があります

Dreaming Future Success 「農業科学企業」

デュポン ファーム ソリューション株式会社

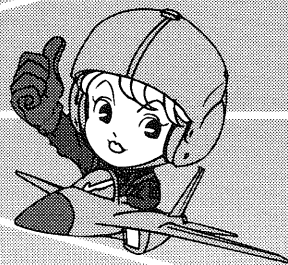
〒100-6111 東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー

水稻用
初・中期一発除草剤

・新発売・

トゥッガン®

1キロ粒剤・フロアブル



＝ 抵抗する雑草を一発撃退! ＝

- 一年生雑草から多年生雑草まで幅広い除草効果を発揮します。
- SU剤抵抗性ホタルイ及び一年生広葉雑草にも高い効果があります。
- ノビエに対して3葉期まで防除できます。
- 水稻に対して安全性が高い薬剤です。

JAグループ
農 協 | 全農® | 経済連
全国本部・県本部

自然に学び 自然を守る
クミアイ化学工業株式会社
本社：東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL:03-3822-5131

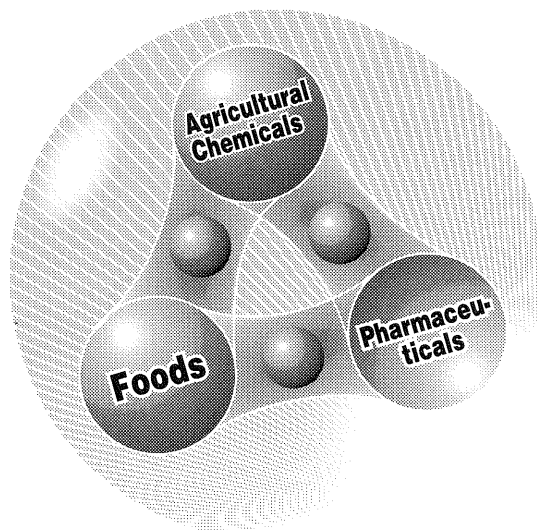
●クミアイ化学はインターネットでも情報提供しております。 <http://www.kumiai-chem.co.jp>を、ぜひご覧ください。

平成 大 年 三 月 発 行

いのちの輝きを見つめる

Meiji

私たちは、夢と楽しさ、いのちの輝きを大切にし、
世界の人々の心豊かな暮らしに、貢献します。



天然物で確実除草

ハービー® 液剤



明治製菓株式会社
104-8002 東京都中央区京橋2-4-16
<http://www.meiji.co.jp/nouyaku>